

# テグラ・ゲート1型

## 取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

### ■梱包明細書

#### ●前・後桁セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
前・後桁 W22	1					
前・後桁 W24		1				
前・後桁 W26			1			
前・後桁 W28				1		
前・後桁 W30					1	
前・後桁 W32						1
堅樋A (ℓ=2200)	1	1	1	1	1	1
前桁ビート材	4	5	5	6	6	7

#### ●屋根材セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
屋根材 (W22)	4					
屋根材 (W24)		5				
屋根材 (W26)			5			
屋根材 (W28)				6		
屋根材 (W30)					6	
屋根材 (W32)						7

#### ●前面パネルセット

	名 称	員 数					
		W22	W24	W26	W28	W30	W32
H 鋼 仕 様	前面パネル W22	1					
	前面パネル W24		1				
	前面パネル W26			1			
	前面パネル W28				1		
	前面パネル W30					1	
	前面パネル W32						1
タ イ ル 仕 様	前面パネル W22	1					
	前面パネル W24		1				
	前面パネル W26			1			
	前面パネル W28				1		
	前面パネル W30					1	
	前面パネル W32						1

#### ●格子セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
格子 W22	1					
格子 W24		1				
格子 W26			1			
格子 W28				1		
格子 W30					1	
格子 W32						1

#### ●側桁・垂木セット

名 称	員 数					
	W22	W24	W26	W28	W30	W32
側桁 (R)	1	1	1	1	1	1
側桁 (L)	1	1	1	1	1	1
側桁カバー	2	2	2	2	2	2
中間垂木	3	4	4	5	5	6
端部垂木 (R)	1	1	1	1	1	1
端部垂木 (L)	1	1	1	1	1	1
中間垂木カバー	3	4	4	5	5	6
端部垂木カバー	2	2	2	2	2	2

#### ●部品セット

名 称	員 数
前・側桁コーナージョイント(R)	1
〃 (L)	1
後・側桁コーナージョイント(R)	1
〃 (L)	1
屋根受け ℓ=60	4
コーナージョイント取付ネジ M4×8トラス 3種	46
前面パネル取付ネジ M4×8トラス 3種	9
壁・屋根組付ボルト M8×20六角ボルト	12
〃 平座金 M8用平座金	12
〃 バネ座金 M8用バネ座金	12
垂木取付ネジ M4×8トラス 3種	32
端部垂木カバー取付ネジ φ4×12ナベ・タツピン 2種	8
端部垂木取付ネジ M4×30トラス 3種	4
雨樋セット	
コーナージョイントキャップ	1
堅樋B ℓ=100	2
エルボ	2
サドルA	2
サドルB	2
サドル取付ネジ M4×16ナベ	2
接着剤(塩ビ)	1
コーキング剤(ブチル)	1

※施工前に必ず裏表紙の「施工上の留意点とお願い」をお読みください。

②壁ユニットセット

名 称		員 数													
		H20		H20		H20		H17		H15		H13		H23	
		(門扉16用)		(門扉14用)		(門扉12用)		(門扉16用)		(門扉14用)		(門扉12用)		(側壁)	
		標準	機能付	左	右										
門 袖 ユ ニ ツ ト	H20(門扉16用)標準	1													
	H20(門扉16用)機能付		1												
	H20(門扉14用)標準			1											
	H20(門扉14用)機能付				1										
	H20(門扉12用)標準					1									
	H20(門扉12用)機能付						1								
	H17(門扉16用)標準							1							
	H17(門扉16用)機能付														
	H15(門扉14用)標準									1					
	H15(門扉14用)機能付										1				
	H13(門扉12用)標準								H17			1			
	H13(門扉12用)機能付								の				1		
側壁ユニット (左)								機					1		
側壁ユニット (右)								能						1	
ベースプレート	2	2	2	2	2	2	2	付	2	2	2	2	2	2	
ホールインアンカー M10	4	4	4	4	4	4	4	は	4	4	4	4	4	4	
ホールインアンカー用 M10×6角ナット	4	4	4	4	4	4	4	あ	4	4	4	4	4	4	
ベースプレートジョイントボルト M8×120・平・バネ座金	2	2	2	2	2	2	2	り	2	2	2	2	2	2	
ベースプレートジョイントナット M8六角	2	2	2	2	2	2	2	ま	2	2	2	2	2	2	
壁ユニットジョイントボルト M8×150	3	3	3	3	3	3	2	せ	2	2	2	2			
壁ユニットジョイント用ワッシャー M8用丸	3	3	3	3	3	3	2	ん	2	2	2	2			
壁ユニットジョイントボルト用 スプリングワッシャー	3	3	3	3	3	3	2		2	2	2	2			
インターホン 子機		1		1		1				1		1			
インターホン 取付プレート	1	1		1		1				1		1			
持ち送りカバーA	2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2			
持ち送りカバーB	2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2			
持ち送りカバーA・B 取付ビス M4×45皿	8	8	8	8	8	8	8		8	8	8	8			
入隅目隠材 φ=1200	2	2	2	2	2	2	2		2	2	2	2			

### ③タイルセット

名 称	入 数	員 数																					
		屋 根 H 鋼 仕 様										屋 根 タ イ ル 仕 様											
		Aタイプ(両袖)					Bタイプ(片袖)					Aタイプ(両袖)					Bタイプ(片袖)						
		13 13	15 15	17 17	13 20	15 20	17 20	20 20	13	15	17	20	13 13	15 15	17 17	13 20	15 20	17 20	20 20	13	15	17	20
二丁掛平(大箱)	56	13	13	14	14	14	14	15	11	11	11	12	13	14	14	14	14	15	15	11	11	11	12
二丁掛平(小箱)	34	0	1	1	0	1	1			1	1				1	1	1		1		1	1	1
曲右	40	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
曲左	40	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
天端用コの字曲り	11	2	2	2	1	1	1		1	1	1		2	2	2	1	1	1		1	1	1	
天端用二丁掛平	15	1	1	1	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	2	2	2	3
天端用曲右	各6	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
天端用曲左																							

### 〈タイル形状一覧〉

名称	二丁掛平	曲 右	曲 左	天端用コの字曲り	
形 状				コの字曲り 	端部コの字曲り 
名称	天端用二丁掛平	天端用曲右	天端用曲左		
形 状					

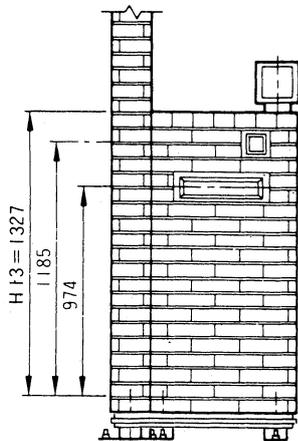
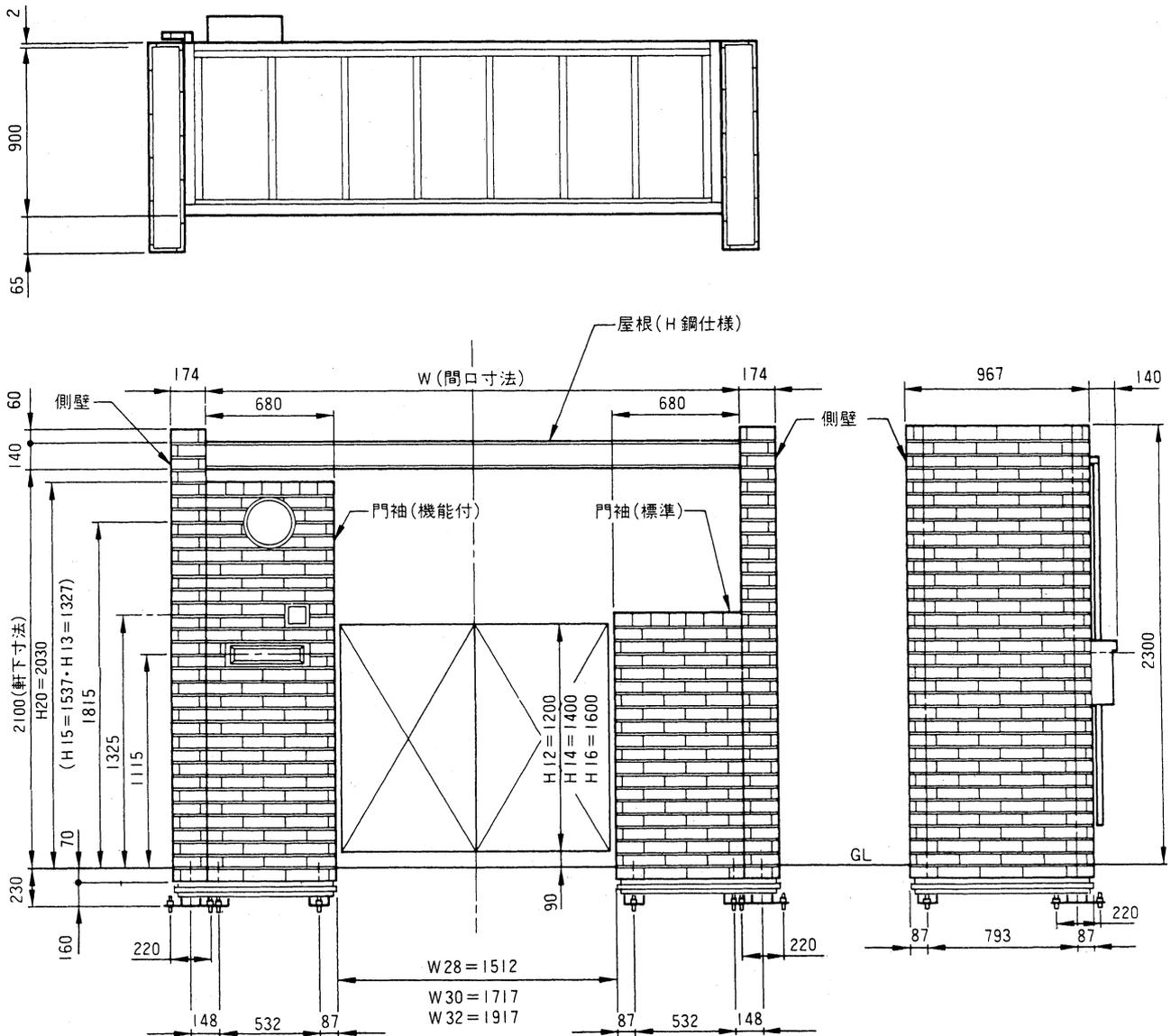
### ④アルミ笠木セット

名 称	員 数																					
	屋 根 H 鋼 仕 様										屋 根 タ イ ル 仕 様											
	Aタイプ(両袖)					Bタイプ(片袖)					Aタイプ(両袖)					Bタイプ(片袖)						
	13 13	15 15	17 17	13 20	15 20	17 20	20 20	13	15	17	20	13 13	15 15	17 17	13 20	15 20	17 20	20 20	13	15	17	20
側壁用笠木セット	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
門袖H20用笠木セット				1	1	1	2				1				1	1	1	2				1

### ⑤接着剤セット

名 称	員数	員 数
接着剤(333ml)	10	各タイプ共 2セット

# 1. 基本寸法及び各部名称 Aタイプ 〈屋根H鋼仕様〉

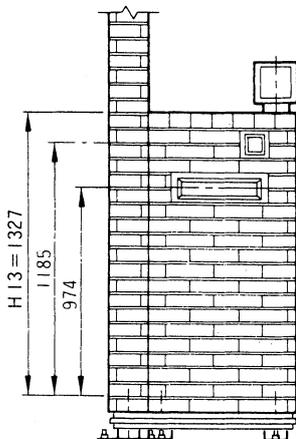
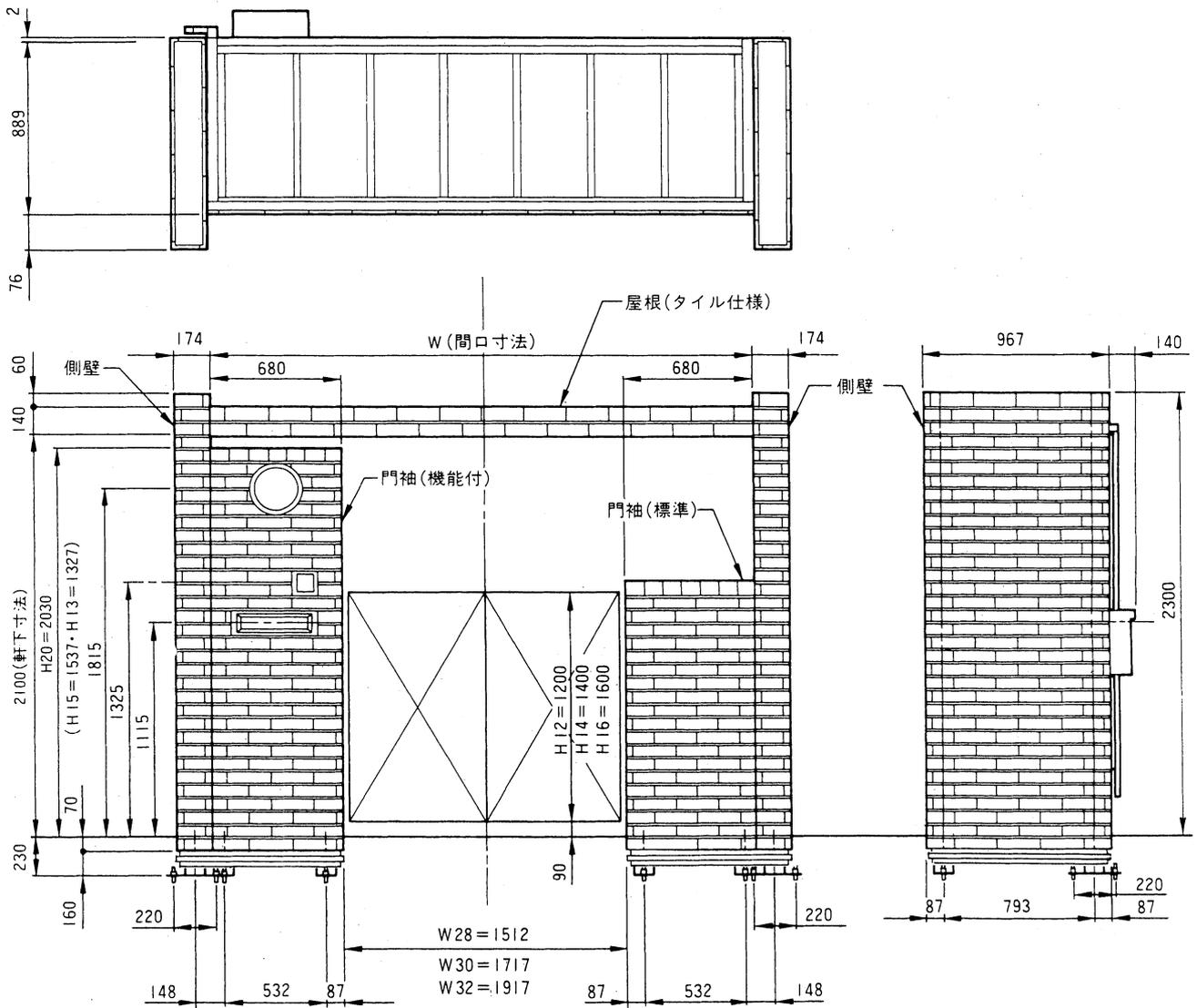


## 〈門袖機能付〉

- H13はポスト、インターホンの取付位置が異なります。
- H13・H15は照明が上部取付けとなります。
- H17に機能付はありません。  
(標準タイプのみです)

名称	門扉	W(間口寸法)
W28	07	2872
W30	08	3077
W32	09	3277

# 1-1.基本寸法及び各部名称Aタイプ〈屋根タイル仕様〉

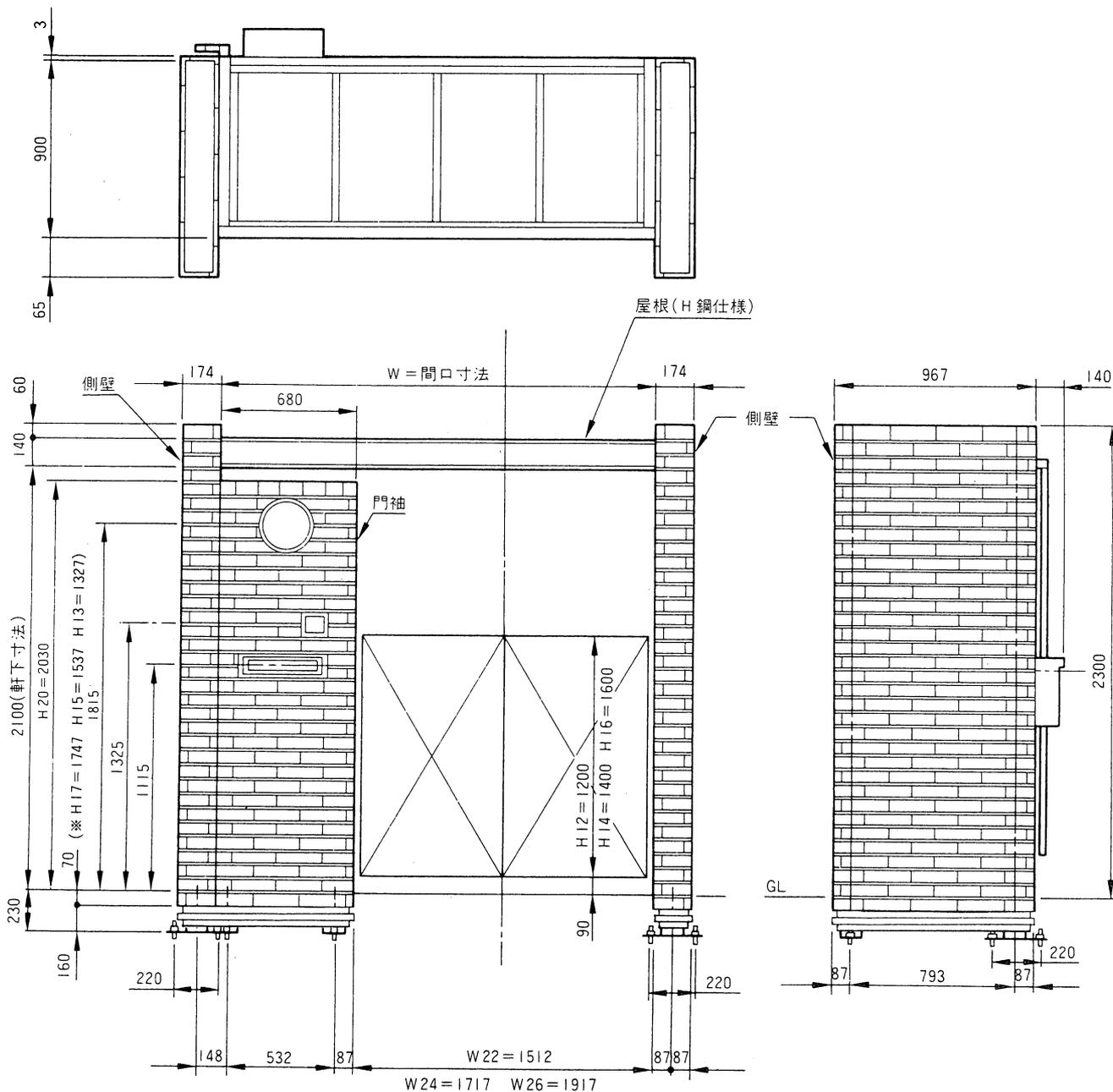


### 〈門袖機能付〉

- H13はポスト、インターホンの取付位置が異なります。
- H13・H15は照明が上部取付けとなります。
- H17に機能付はありません。  
(標準タイプのみです)

名称	門扉	W(間口寸法)
W28	07	2872
W30	08	3077
W32	09	3277

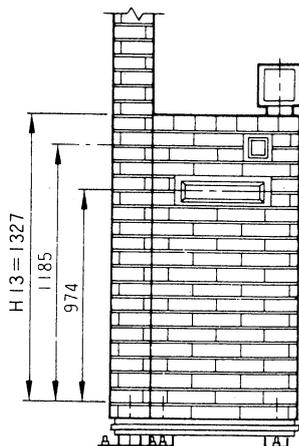
## 2.基本寸法及び各部名称〈Bタイプ・屋根H鋼仕様〉



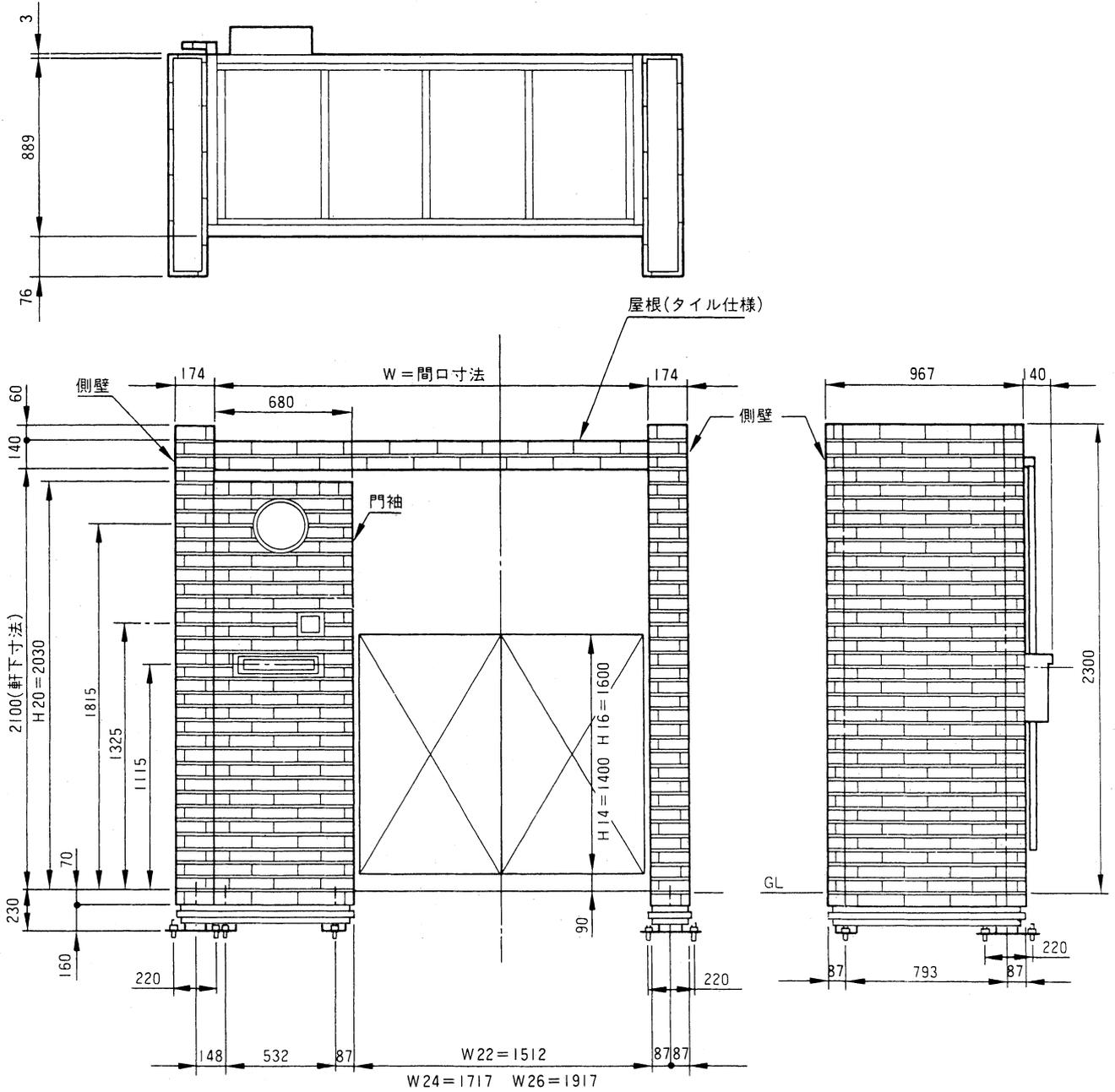
### 〈門袖機能付〉

- H13はポスト、インターホンの取付位置が異なります。
- H13・H15は照明が上部取付となります。
- H17に機能付はありません。(標準タイプのみです。)

名称	門扉	W(間口寸法)
W22	07	2192
W24	08	2397
W26	09	2597



## 2-1. 基本寸法及び各部名称 (Bタイプ・屋根タイル仕様)

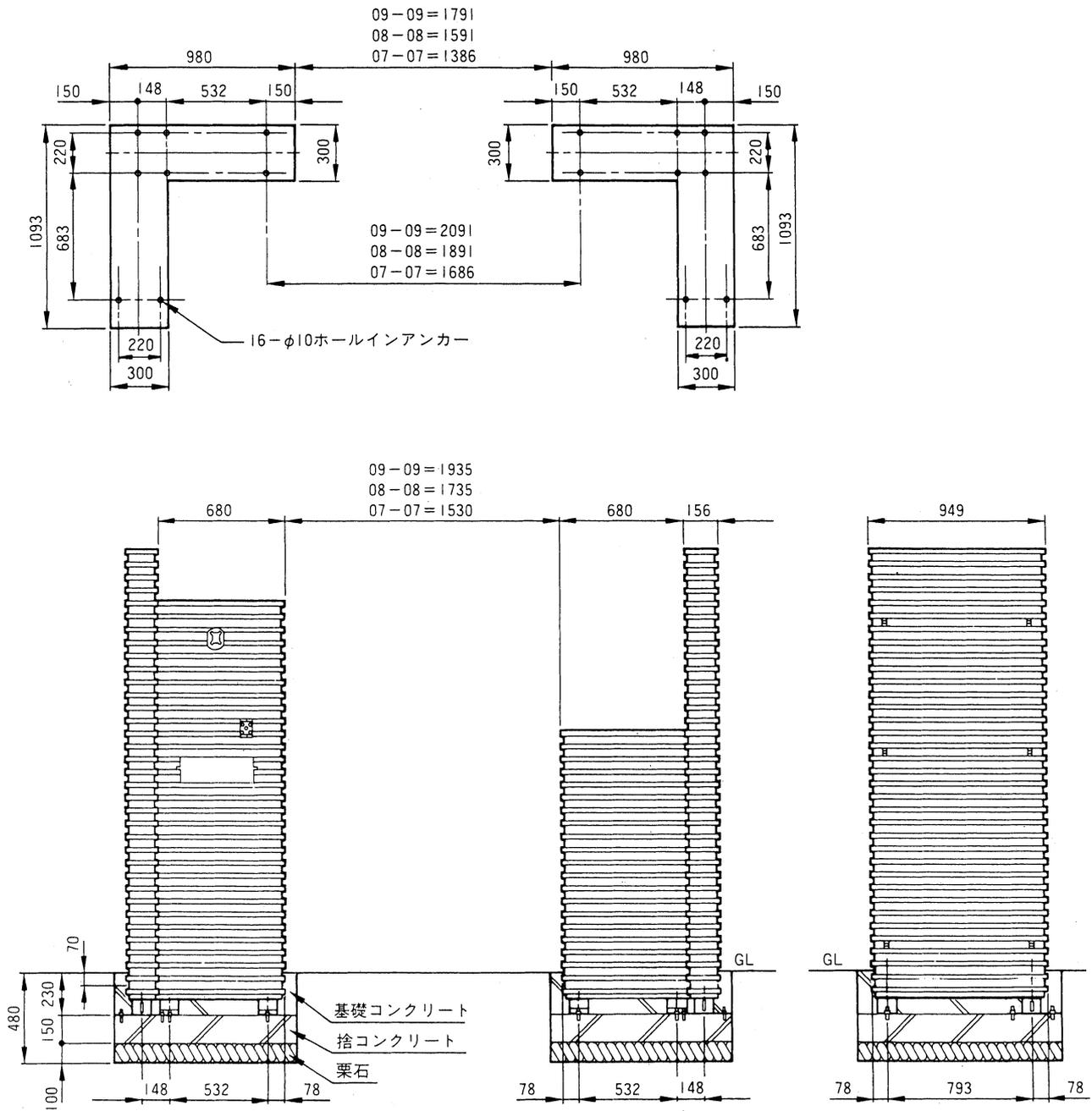


### 〈門袖機能付〉

- H13はポスト、インターホンの取付位置が異なります。
- H13・H15は照明が上部取付となります。
- H17に機能付はありません。(標準タイプのみです。)

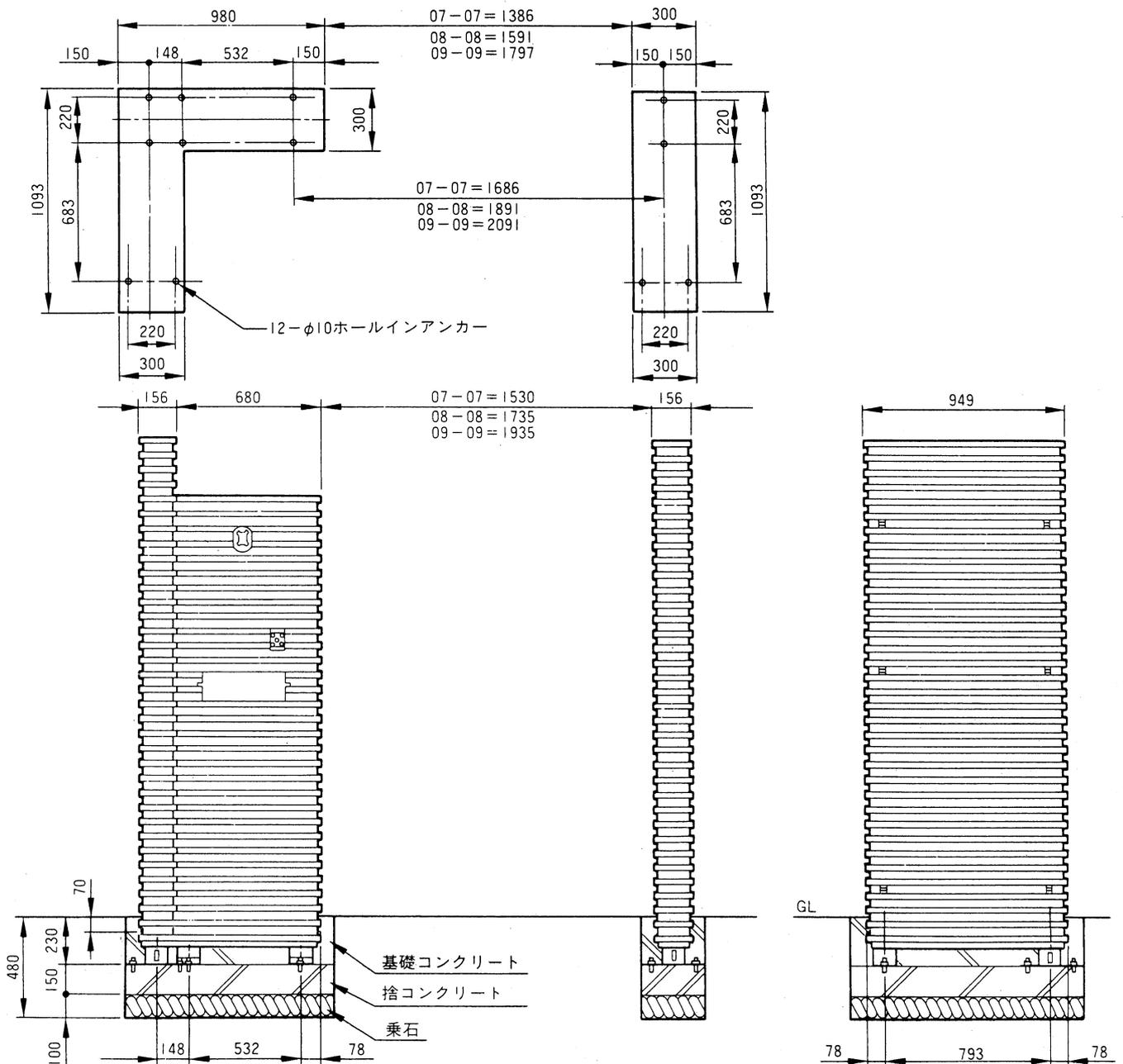
名称	門扉	W(間口寸法)
W22	07	2192
W24	08	2397
W26	09	2597

### 3. 基本寸法・壁ユニット寸法〈Aタイプ〉



〈図-1〉

### 3-1.基礎寸法・壁ユニット寸法〈Bタイプ〉

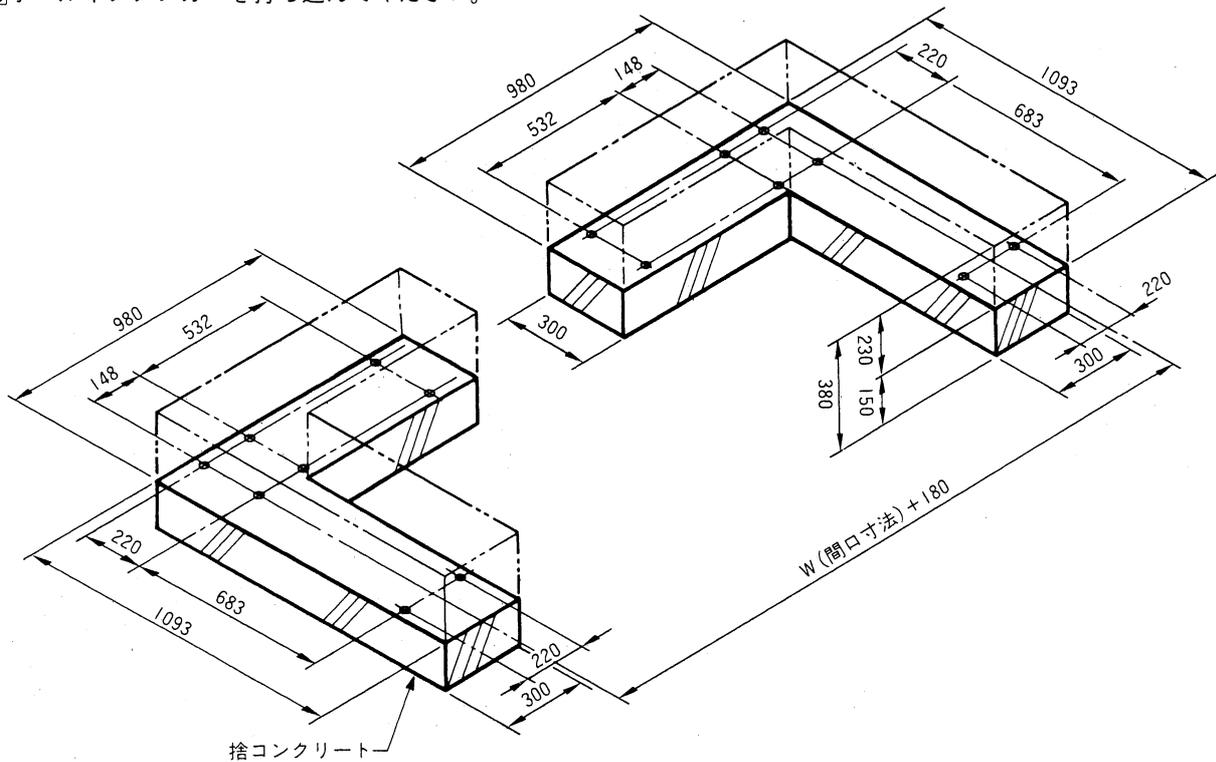


〈図-2〉

※門袖が反対側に取付く場合は、図を左右逆に読替えてください。

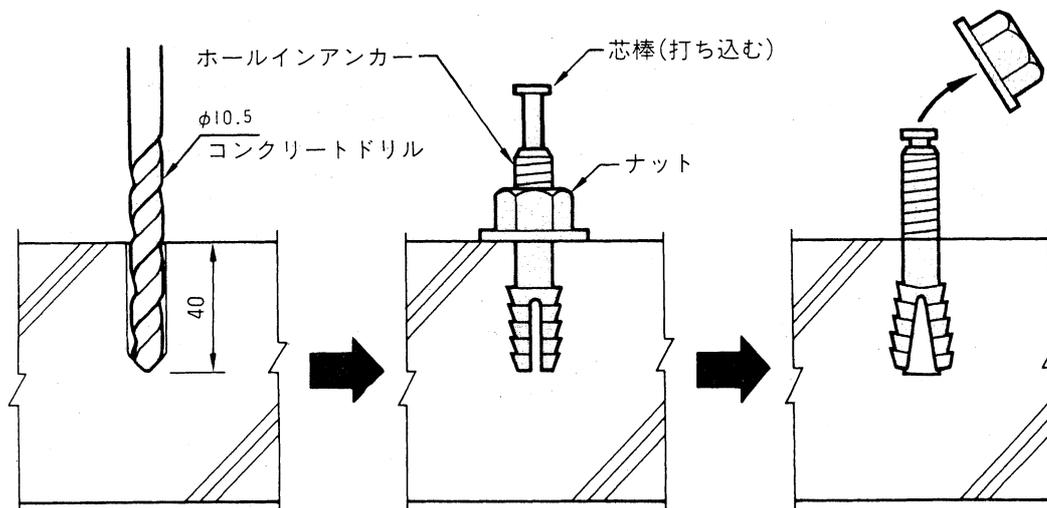
## 4. 基礎の施工(Aタイプ)

- ①基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工してください。(図-1参照)
- ②墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ( $\phi 10.5$ )を行ってください。  
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行ってください。)
- ③ホールインアンカーを打ち込んでください。



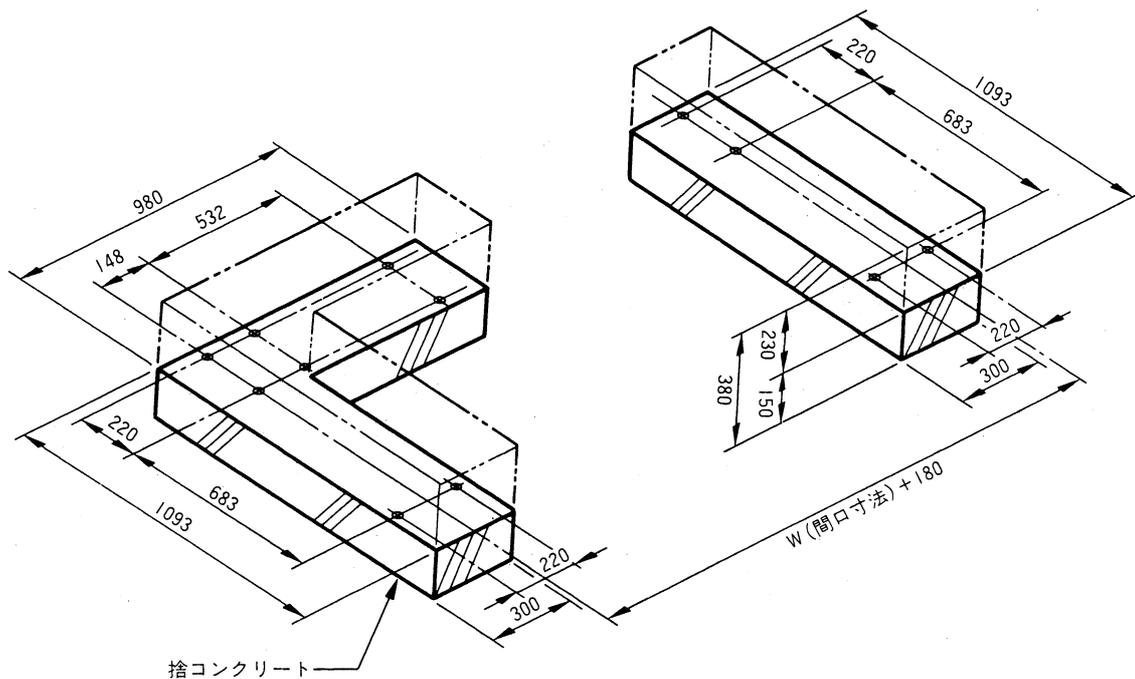
## 5. ホールインアンカーの施工

- ①直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ40mmの下穴をあけてください。
- ②ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んでください。
- ③穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。
- ④ナットを一担、取りはずしてください。



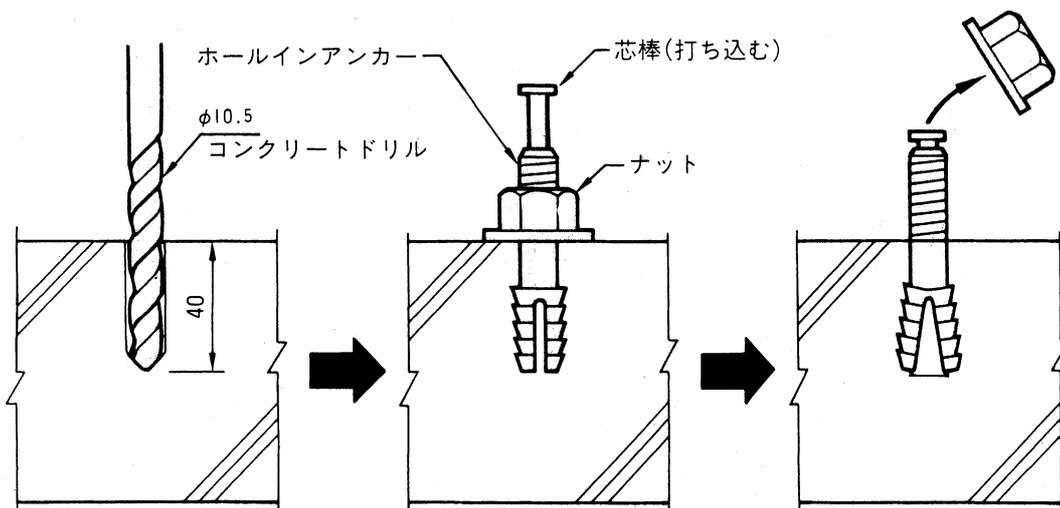
## 4-1.基礎の施工〈Bタイプ〉

- ①基礎施工図の要領で捨コンクリートを施工してください。(図-2 参照)
- ②墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ( $\phi 10.5$ )を行ってください。  
(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行ってください。)
- ③ホールインアンカーを打ち込んでください。

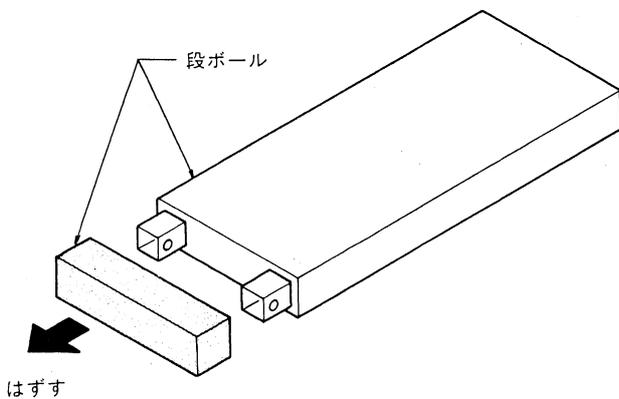


## 5-1.ホールインアンカーの施工

- ①直径10.5mmのコンクリートドリルで深さ40mmの下穴をあけてください。
- ②ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んでください。
- ③穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。
- ④ナットを一担、取りはずしてください。

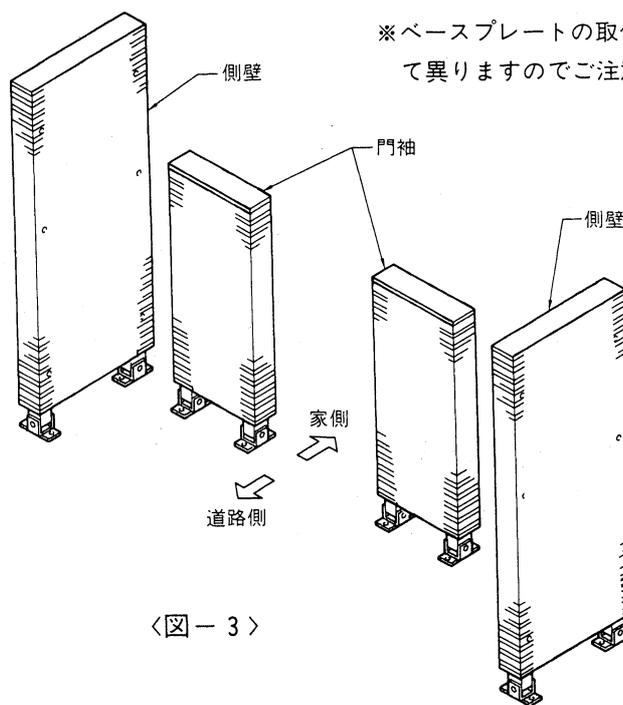


## 6. 開梱と養生



- ① 段ボール梱包の下部をはずしてください。  
(継ぎ目のテープのミシン目を切って下さい)
- ② 上部の段ボールは養生材として用いますので  
建込まで付けておいてください。  
※タイル張りまで日を置く場合は、紫外線の  
影響を避ける為、必ず段ボールで養生をして  
ください。

## 7. ベースプレートの取付け

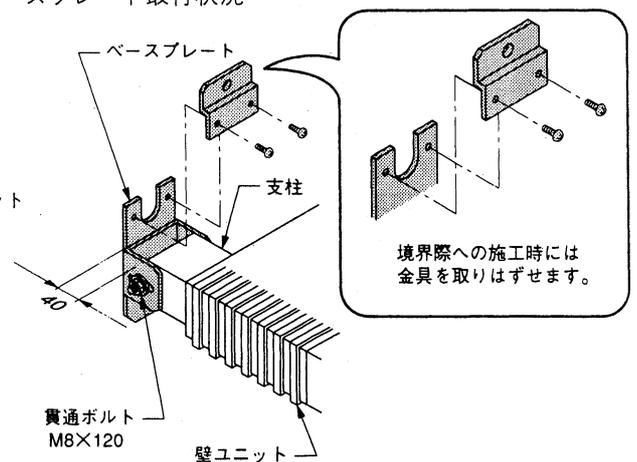
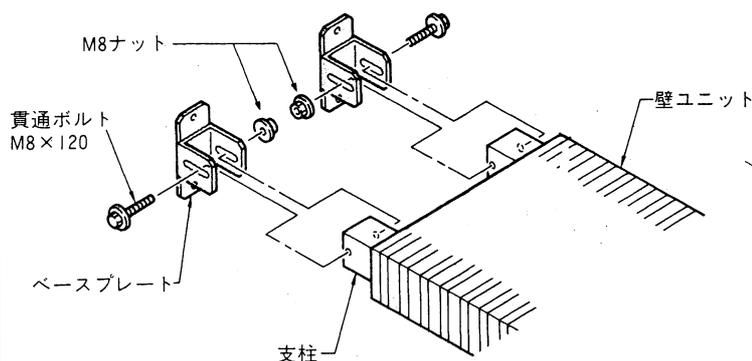


※ベースプレートの取付方向は壁ユニットによっ  
て異なりますのでご注意ください。

〈図-3〉

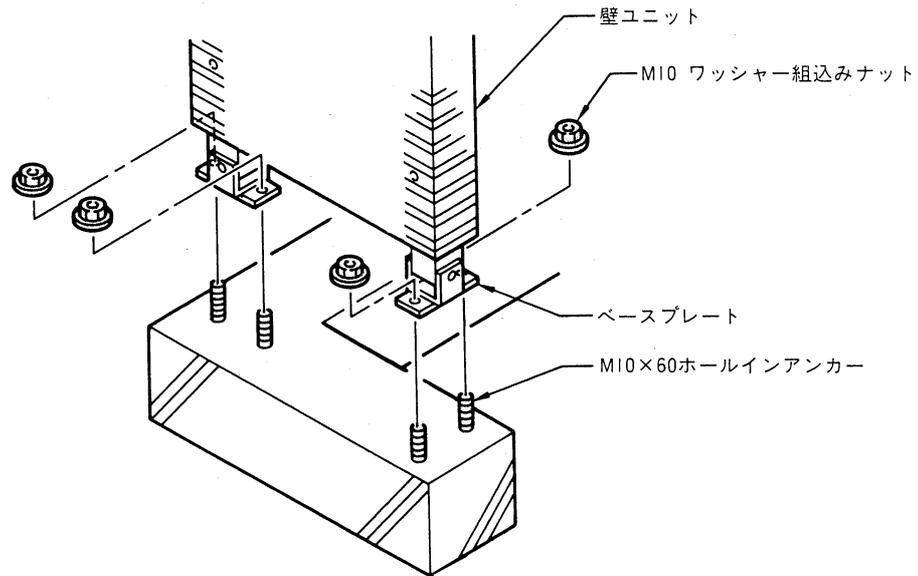
- 壁ユニットの支柱にベースプレートを貫通ボルト  
にて固定してください。  
(ベースプレートの向きは図-3を参照ください。)

- ベースプレート取付状況



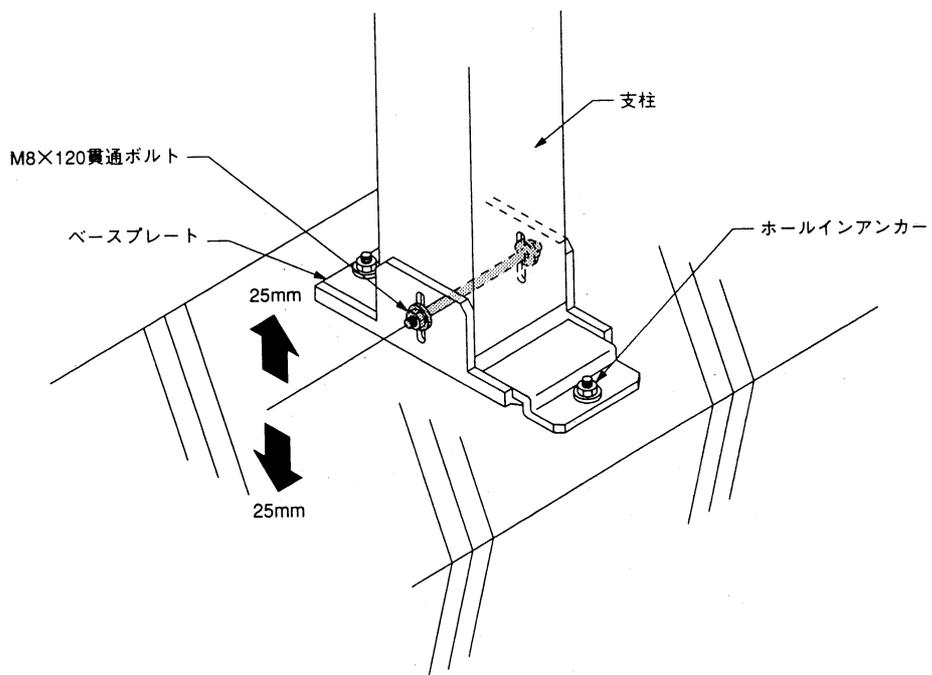
## 8. 壁ユニットの固定

- ①ベースプレートをホールインアンカーにM10ワッシャー組込みナットで仮固定します。
- ②全ての壁ユニットを仮固定した後、側壁と門袖をボルトで仮止めします。  
(9.側壁と門袖の固定を参照ください)
- ③レベル・側壁と袖壁の直角度・タイル用溝の通りを調整してください。
- ④調整後、全てのボルト、ナットを本締めしてください。

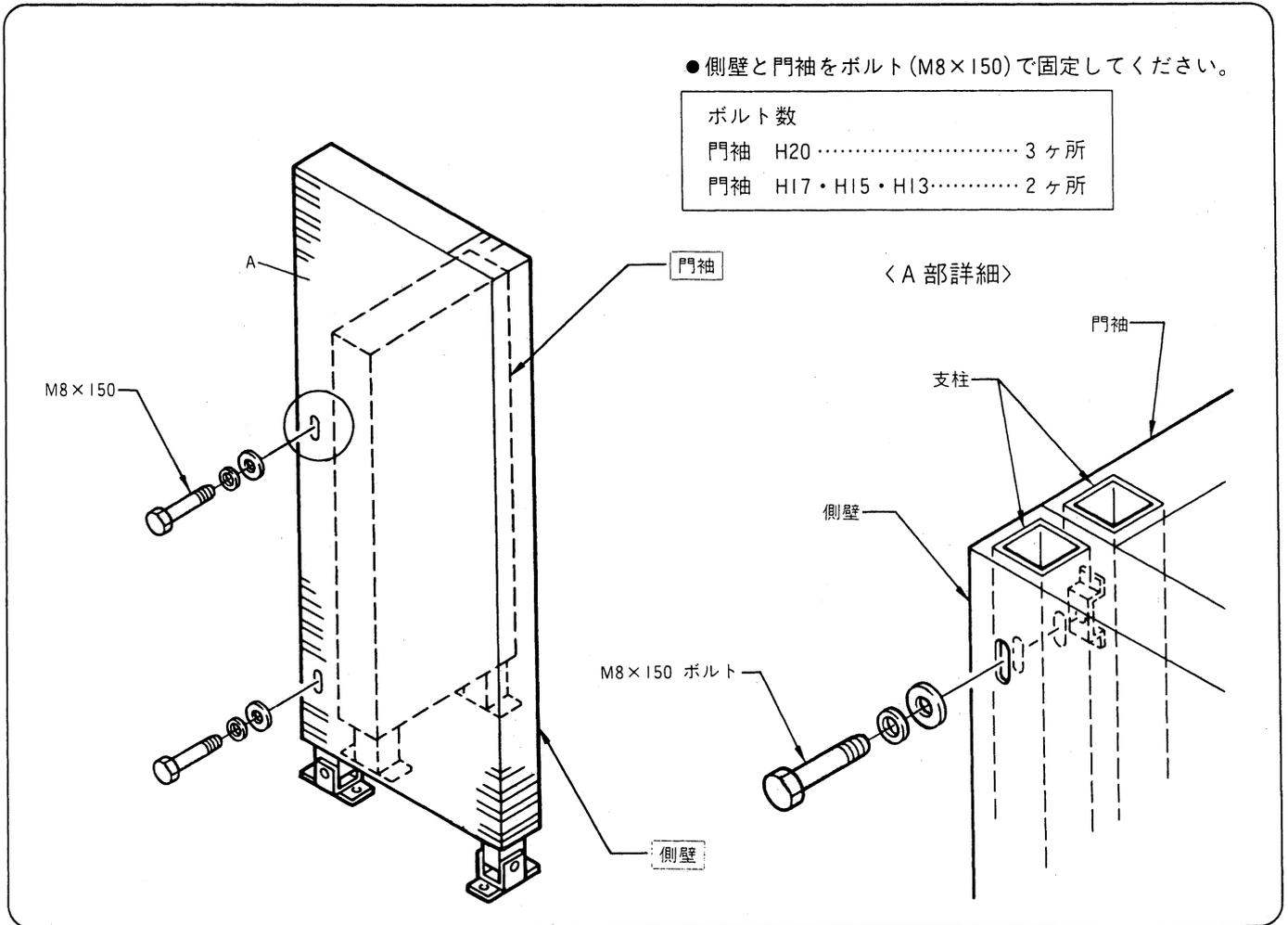


### 〈レベルの調整方法〉

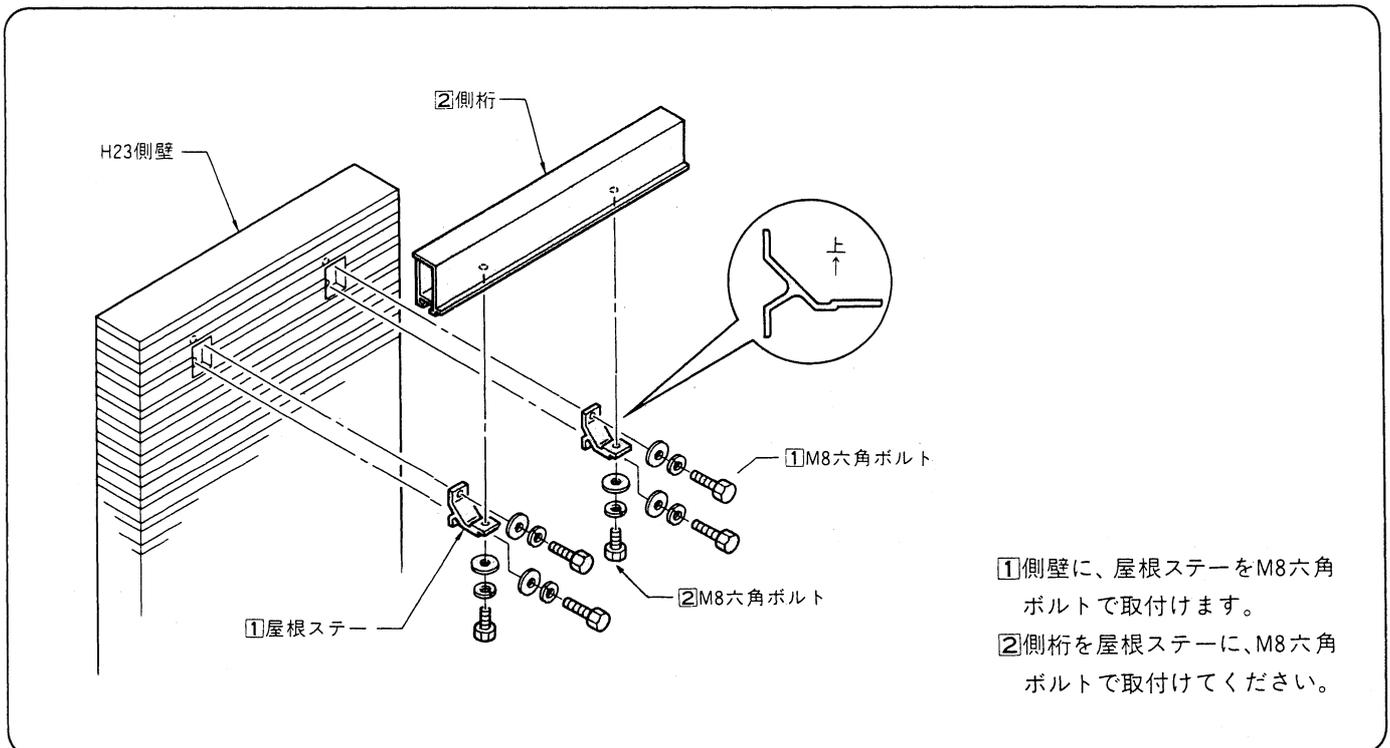
- ①ベースプレートの貫通ボルト(M8×120)をゆるめて調整してください。(調整範囲は50mmです)



## 9. 側壁と門袖の固定



## 10. 屋根の取付け 〈側桁の取付け〉



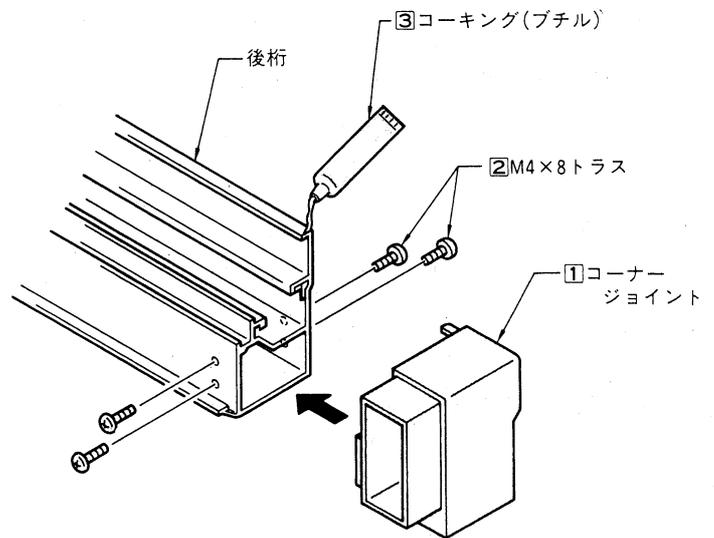
## 11. 屋根の取付け 〈後桁へのコーナージョイントの取付け〉

①後桁にコーナージョイントを差し込んでください。

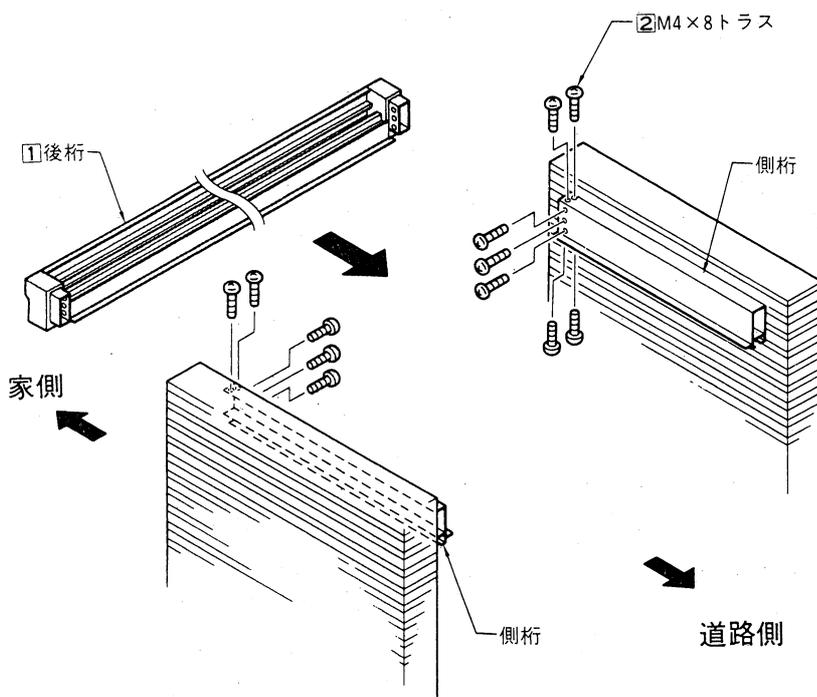
注) 右、左がありますので注意してください。

②左右のコーナージョイントをM4×8トラス(各4本)で固定します。

③雨樋部にコーキング(付属品)を施してください。



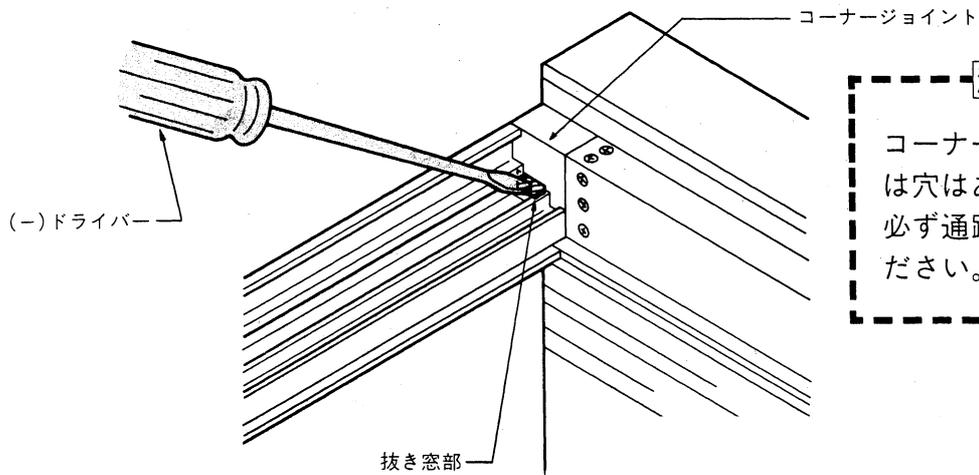
## 12. 屋根の取付け 〈後桁の取付け〉



①すでに側壁に取付けられている側桁に後桁を、差し込みます。

②左右の側桁と後桁をM4×8トラス(各7本)で固定します。

## 13. 屋根の取付け〈コーナージョイントの雨樋通路加工〉



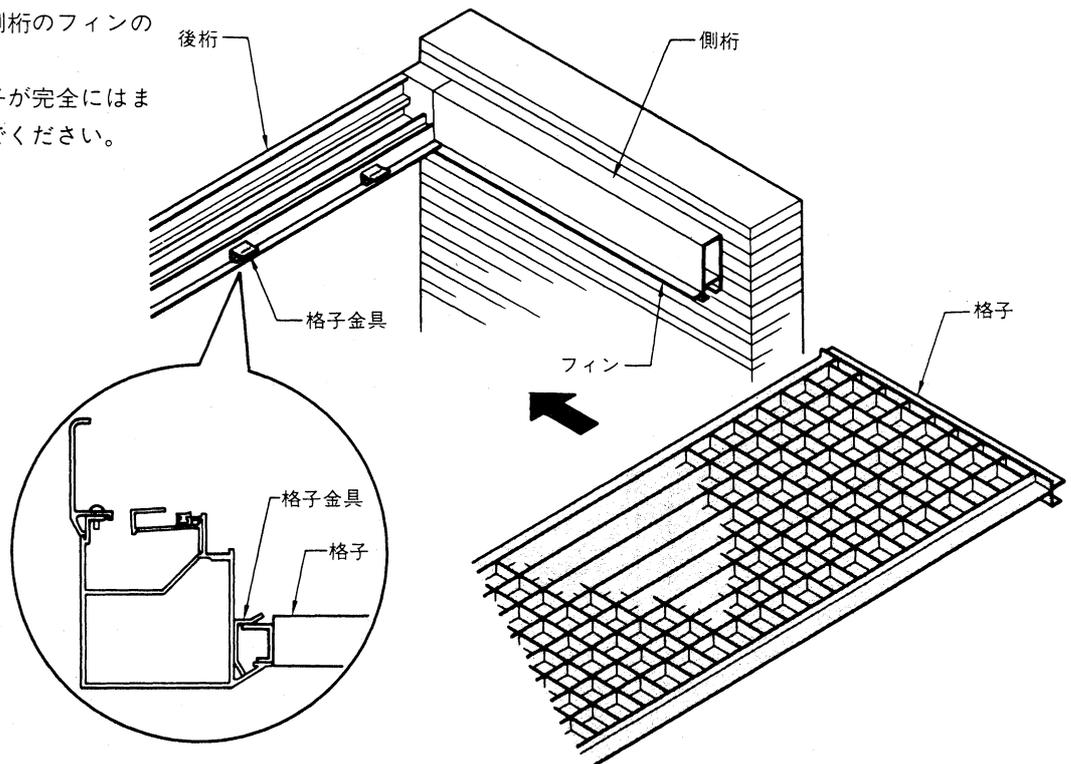
**注 意**  
 コーナージョイントには穴はあいていません。必ず通路加工をしてください。

- ①現場に合わせて雨樋を通すコーナージョイントを、右左どちらか一方に決めてください。
- ②雨樋側のコーナージョイントの抜き窓部をドライバー等で、あけて下さい。あらかじめ切り込みが入っていますので、それに添って抜いてください。

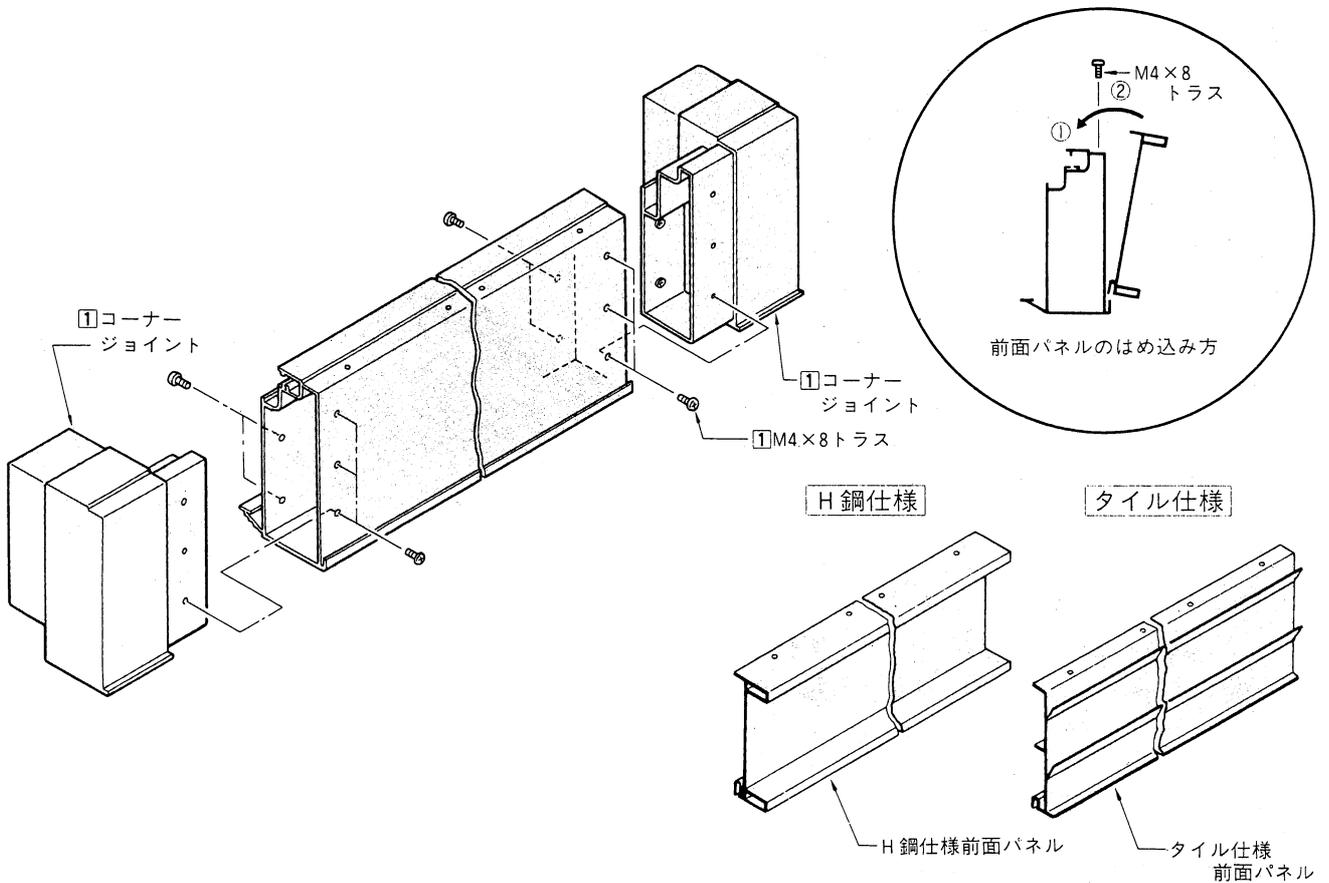
**注 意** コーナージョイントの窓抜きは、雨樋の通る右左どちらか一方です。

## 14. 屋根の取付け〈格子の取付け〉

- ①格子を道路側より、側桁のフィンの上に乗せます。
- ②後桁の格子金具に格子が完全にはまり込むまで押し込んでください。



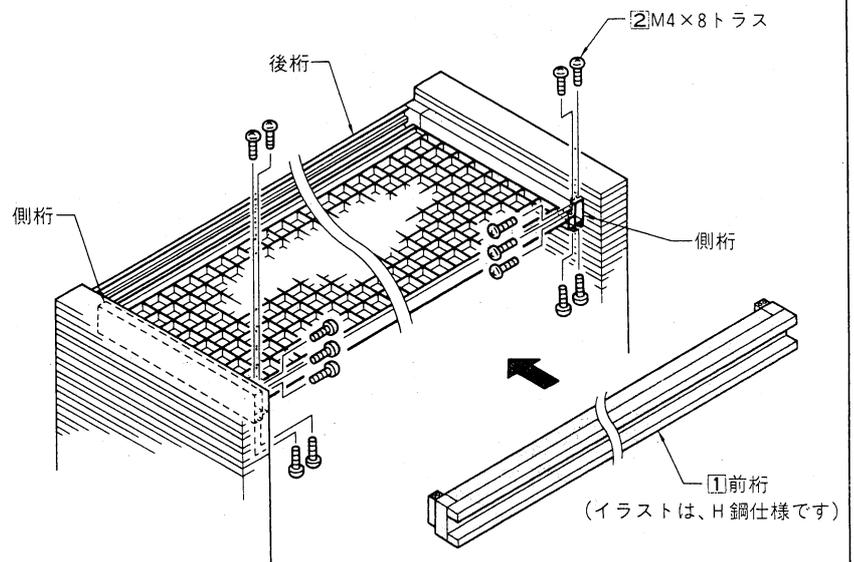
## 15. 屋根の取付け 〈前桁への前面パネルおよびコーナーキャップの取付け〉



- ①前桁へコーナージョイントをM4×8トラス(左右各5本)で固定します。
- ②前桁へ前面パネルをはめ込み、M4×8トラスで固定します。

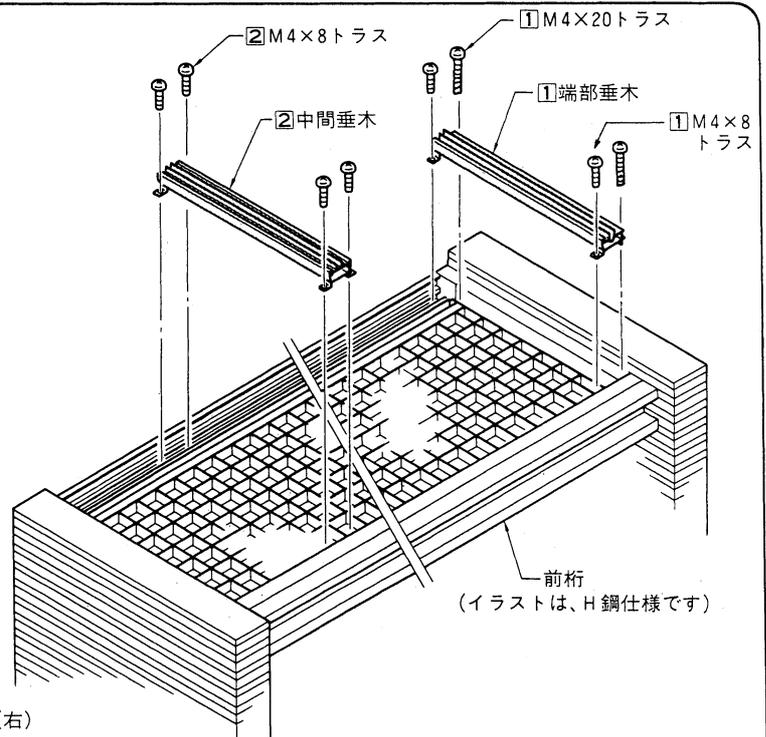
## 16. 屋根の取付け 〈前桁の取付け〉

- ①前桁を側桁に差し込みます。この時、格子も確実にはめ込んでください。
- ②前桁、側桁、格子のはまり込みを確認した後、M4×8トラス(左右各7本)で固定します。



## 17. 屋根の取付け 〈垂木の取付け〉

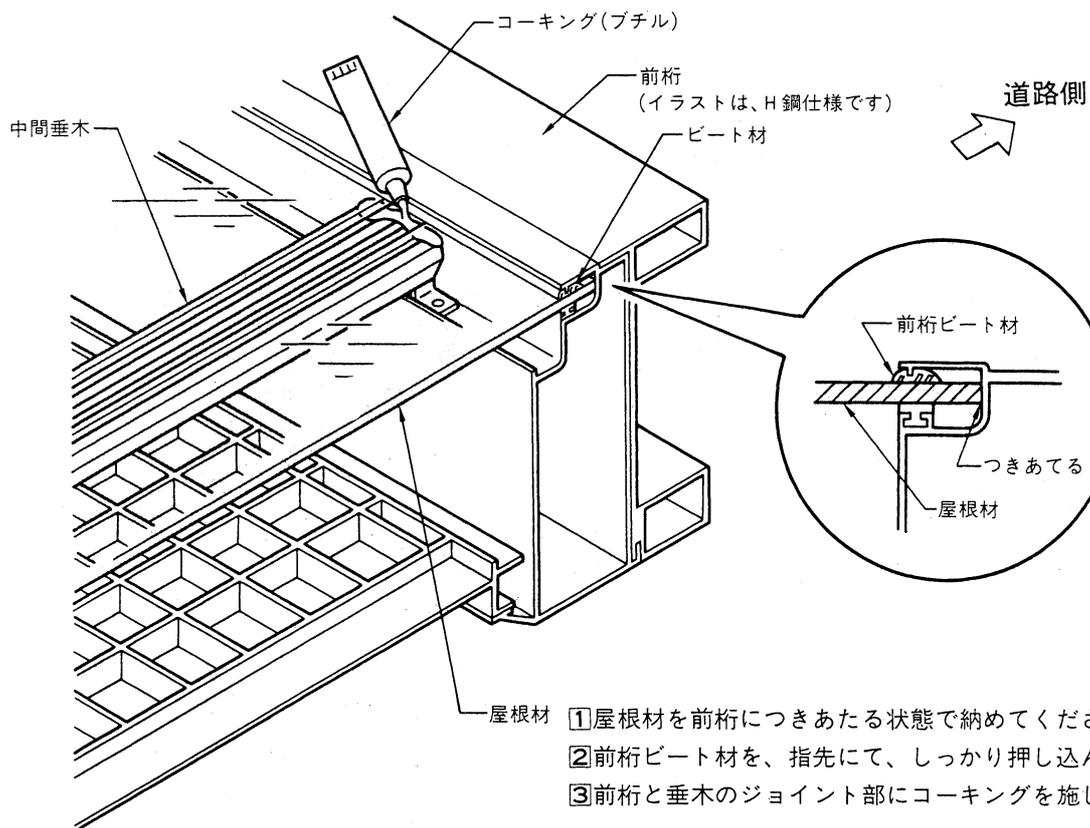
- ① 垂部垂木(左右)をM4×8トラス(2本)とM4×20トラス(2本)にて取付けてください。
  - ② 中間垂木をM4×8トラス(4本)にて取付けてください。
- 尚、端部垂木、中間垂木に前後はありません。  
端部垂木は、図4の方向で取付けてください。



〈図-4〉



## 18. 屋根の取付け 〈屋根材の取付け〉



- ① 屋根材を前桁につきあたる状態で納めてください。
- ② 前桁ビート材を、指先にて、しっかり押し込んでください。
- ③ 前桁と垂木のジョイント部にコーキングを施してください。

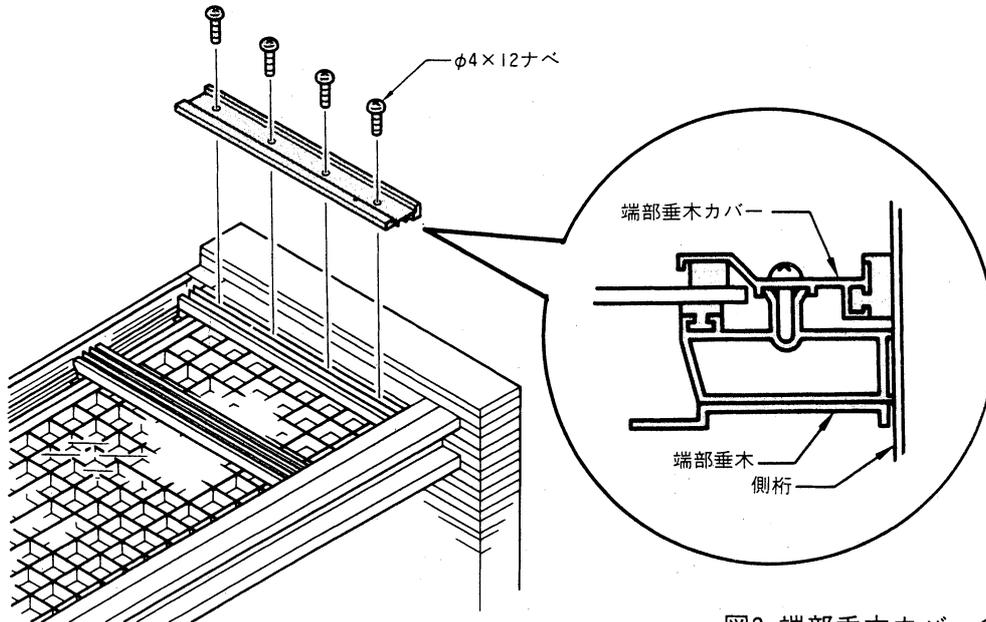


図2. 端部垂木カバーの取付け

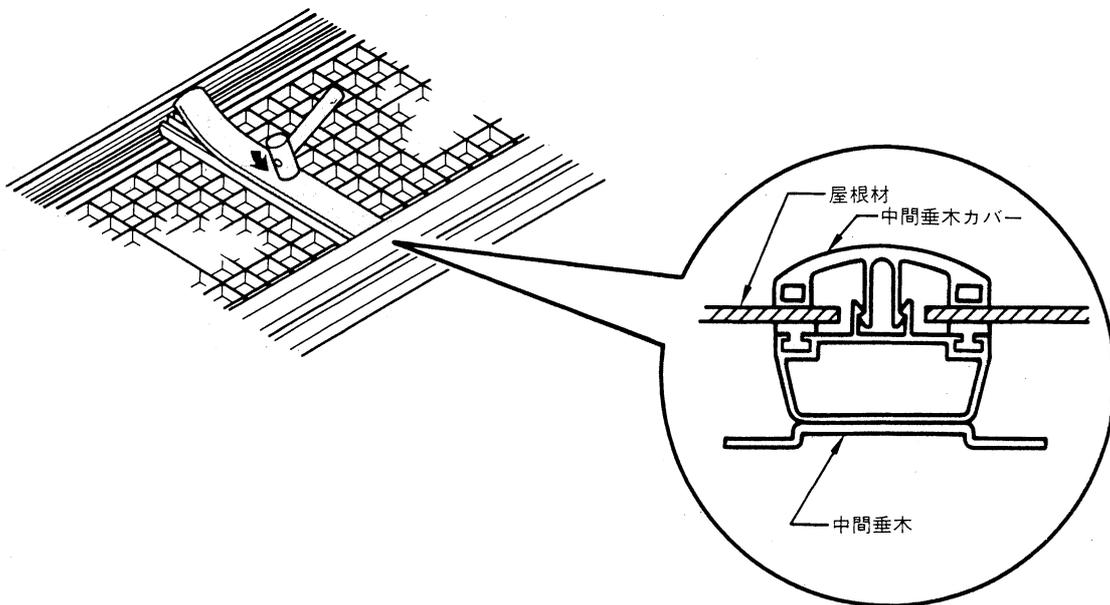
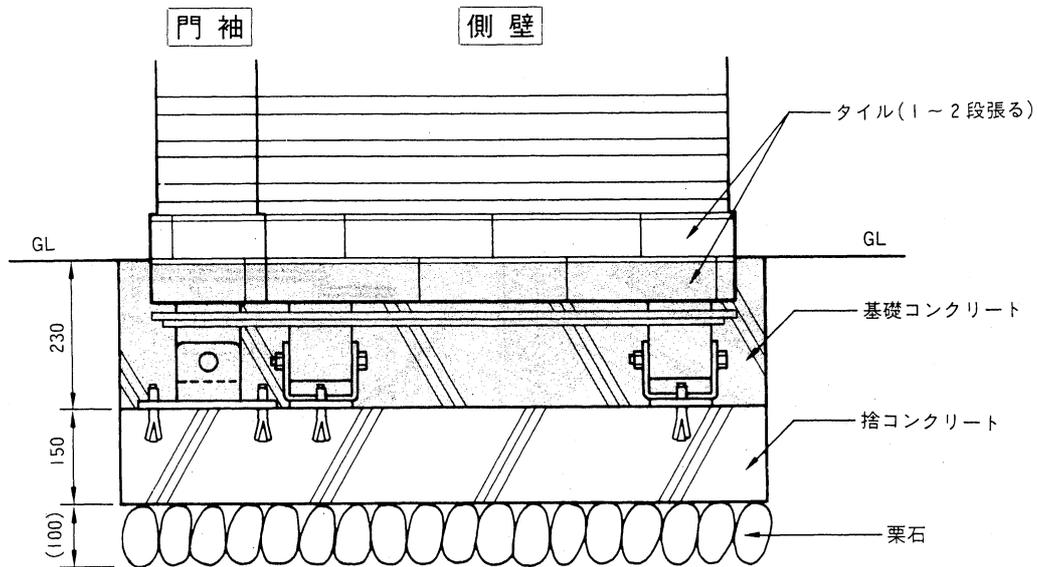


図3. 中間垂木カバーの取付け

- ④ 端部垂木カバーを(図2参照)φ4×12ナベ4本で止め付けてください。
- ⑤ 中間垂木カバーは、前桁につきあけた位置より木づちでたたきながら中間垂木にはめ込んでください。(図3参照)  
 注) 中間垂木カバーのメツと中間垂木の溝を一致させてから木づちで少しづつはめ込んでください。また、取付完了後に全長にわたり、固定されているか確認してください。

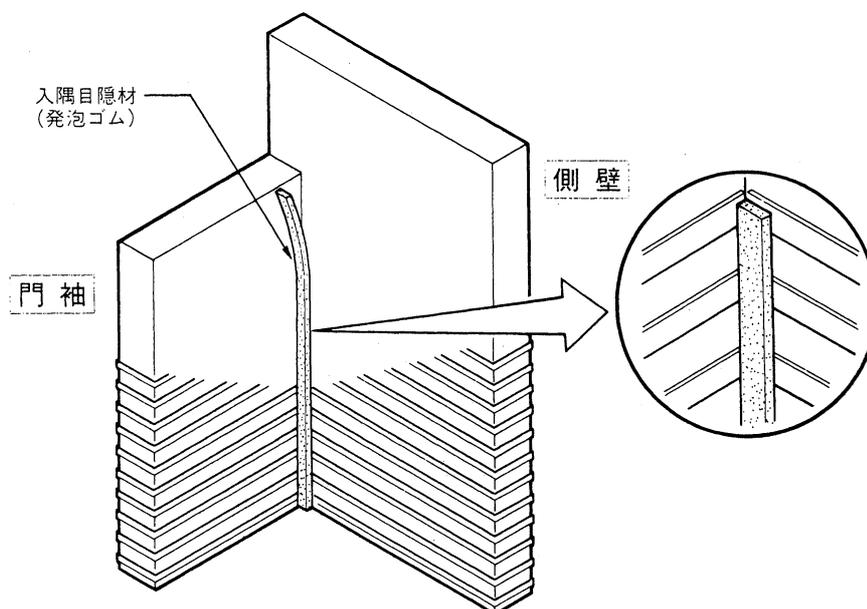
## 19. 基礎コンクリート打ち

- ① 下から1～2段のタイル張ってください。(20～23 タイル張りの項参照)
- ② 基礎コンクリートを打設します。特に支柱、ベースプレート廻りには充分行き渡る様にしてください。



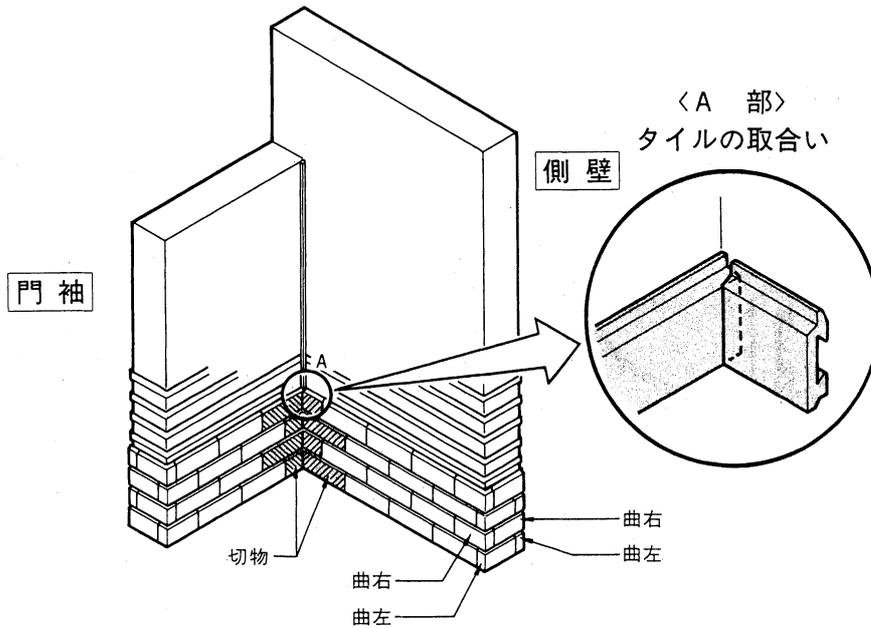
## 20. 壁入隅部の処理

入隅部の側壁に、「入隅目隠材」(発泡ゴム)を貼付けてください。(タイル突付け部のスキ間を隠す為に用います。)  
尚、入隅目隠材には両面テープが貼られています。



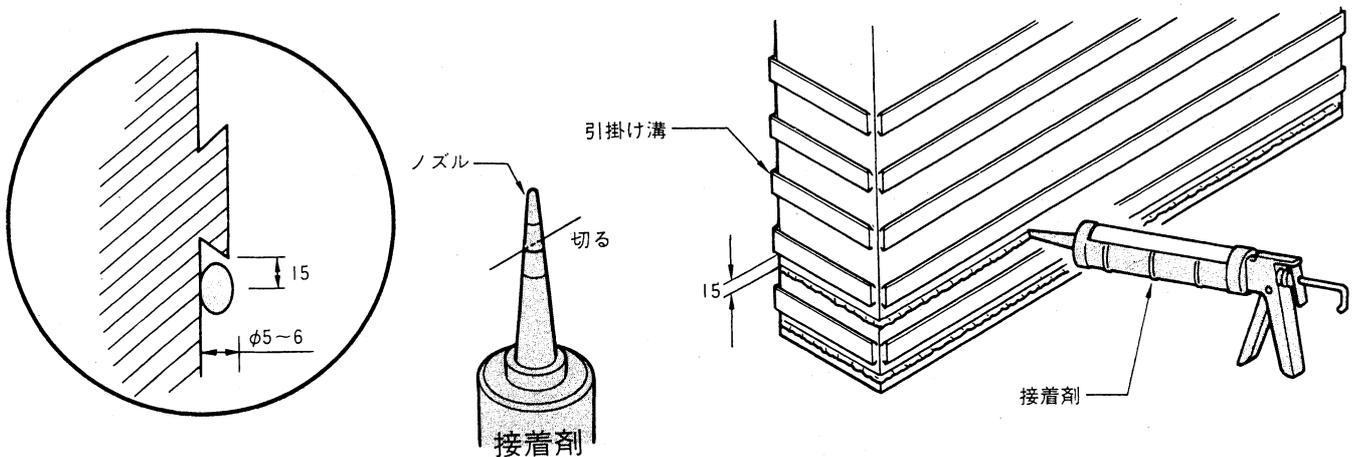
## 21. 割付確認の為のタイル仮固定

- ①タイルはコーナー役物から入隅部に向かって取付けて行きます。最後は切物になります。
  - ②タイルは接着剤を用いて接着します。(22.接着剤の塗布の項参照)
- 注意) 接着剤を塗布する前に必ずタイル仮固定をしてタイルの確認をしてください。



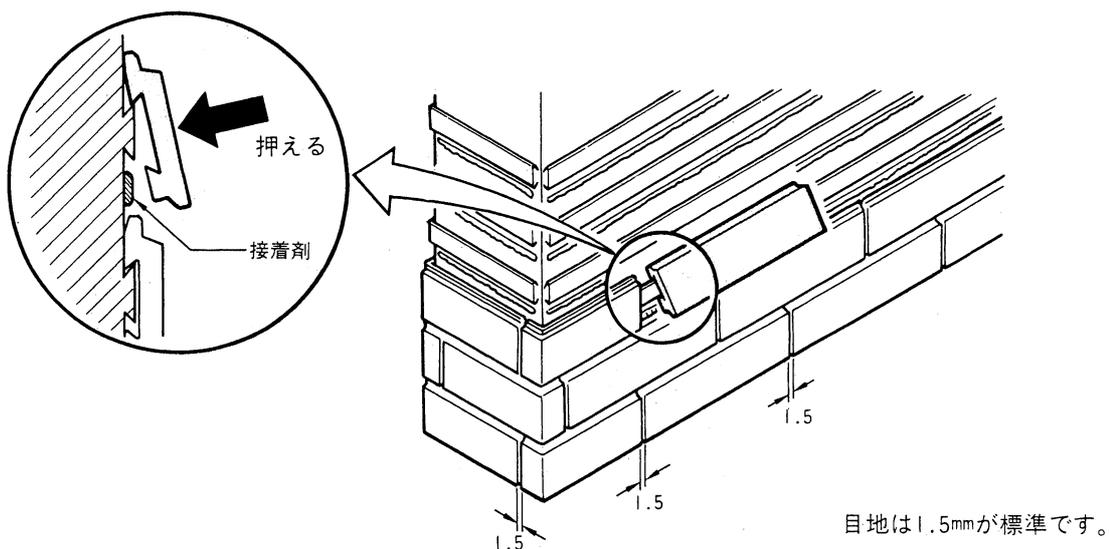
## 22. 接着剤の塗布

- ①接着剤は当社指定の物を必ずご使用ください。
- ②接着剤のノズルをカッター等で切ってください。(ノズルに付いている溝のうち下から2番目を切りますと所定の量を出し易くなります。(φ5~6))
- ③タイル引掛け溝の下約15mmの所へ塗布してください。(塗布量の目安は接着剤1本で1㎡です)



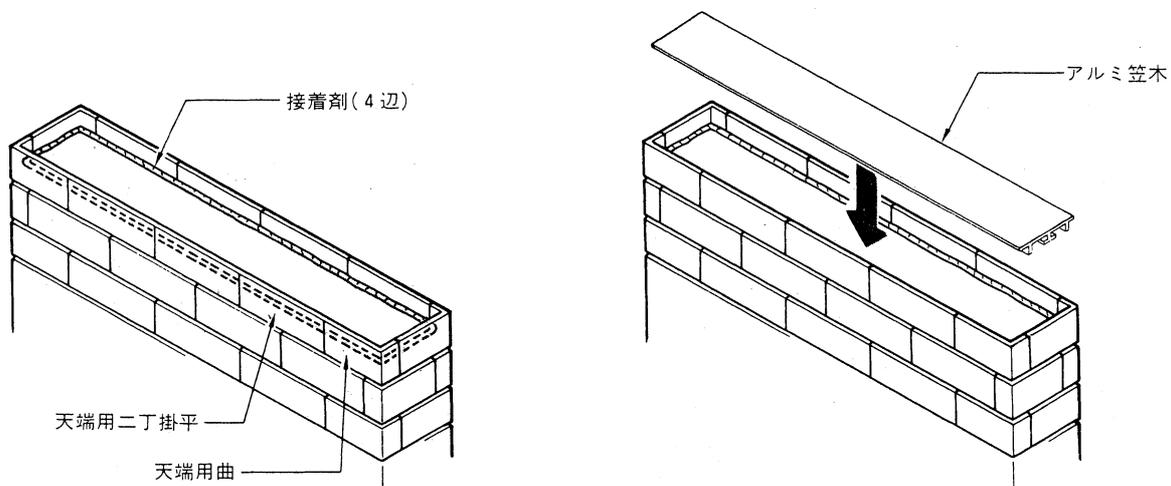
## 23. タイル張り

- ① タイルは下段から上段に張って行きます。
  - ② 引っ掛け溝にタイル上部を引っ掛けてから接着剤に押し付けます。
  - ③ 目地の調整は接着剤塗布後60分以内に行ってください。
- ※ タイル表面に接着剤が付着しない様にご注意ください。万一付着した場合は硬化する前に拭き取ってください。



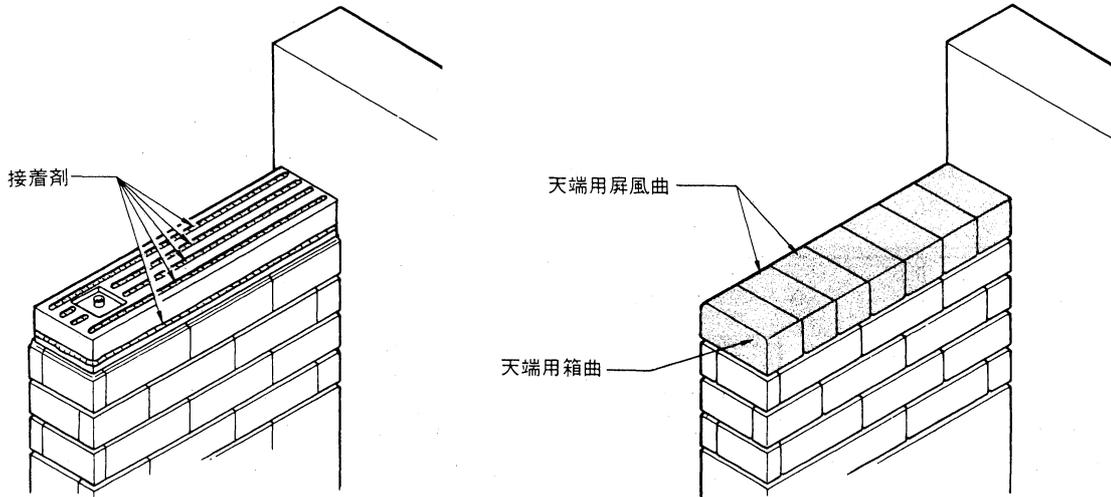
## 24. アルミ笠木の取付け〈門袖H20、側壁H23に使用〉

- ① タイル周辺に接着剤を塗布します。
- ② アルミ笠木を充分押え付け接着します。
- ③ タイルとの目地が均一になる様、調整してください。



## 25. 天端用タイル張り 〈門袖H13・H15・H17に使用〉

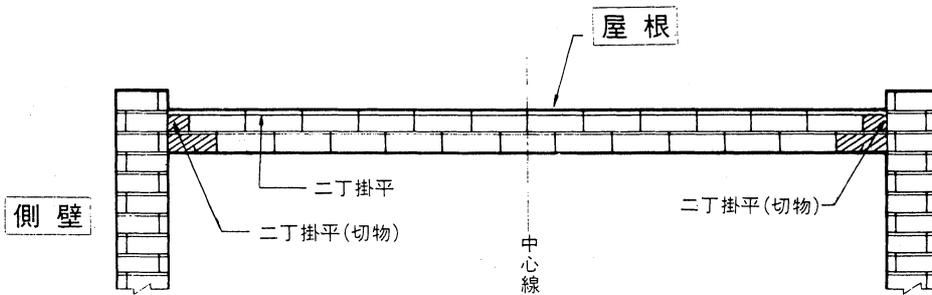
- ① 接着剤をタイル引掛け溝の下部及び壁ユニット上部に塗布してください。
- ② 照明が取付く場合のタイル加工は(28. 照明の取付の項を参照ください。)



〈イラストは照明付きを示します〉

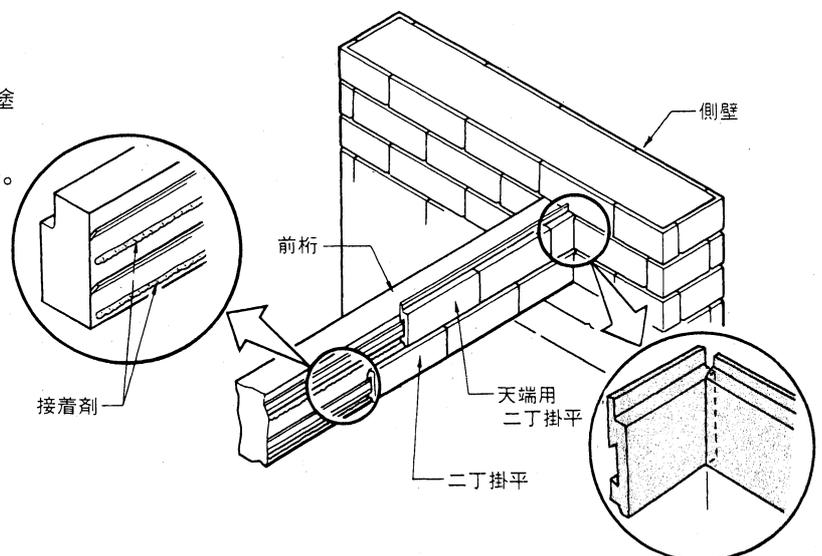
## 26. 屋根のタイル張り 〈タイル仕様の場合〉

- ① タイル割付
  - 屋根のセンターから割り付けてください。両端は切物になります。



- ② タイル張り
 

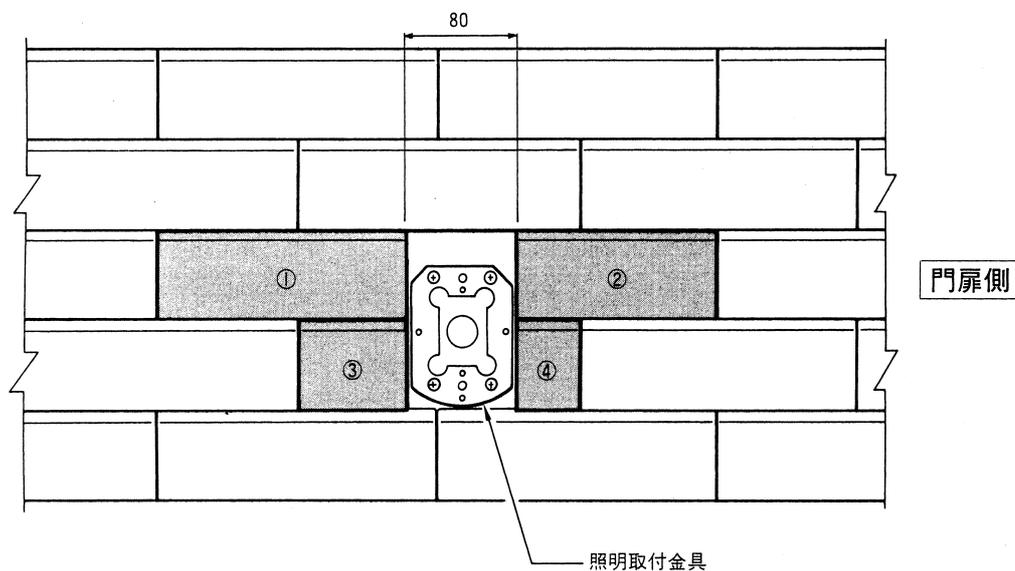
前桁のタイル引っ掛け部の下部に接着剤を塗布してください。  
タイルはセンターから端部へ張ってください。



## 27. 照明の取付け〈H20の前面取付け用〉

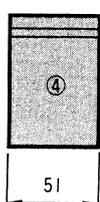
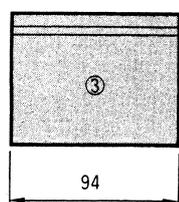
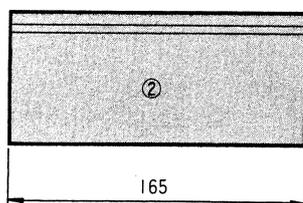
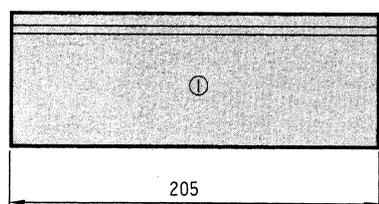
### ① タイルの割付け

- 照明はタイルを張った後に取付けてください。  
照明取付部のタイル割付は下図を参照ください。



### ② タイルのカット

- 下図の通りタイルをカットしてください。



### ③照明本体の取付け

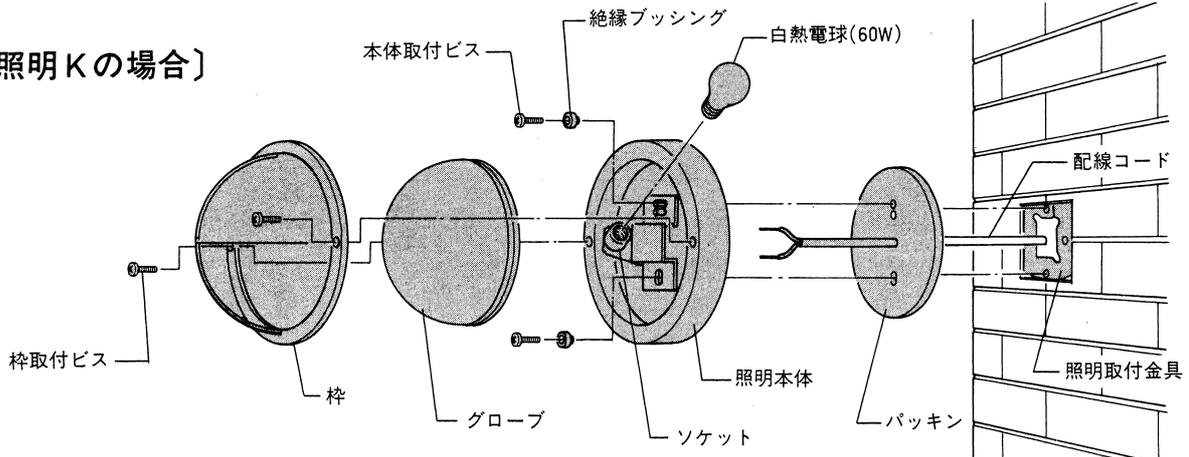
電気工事は必ず電気工事店にご依頼下さい。

門灯セットの梱包の中に取説が入っています。

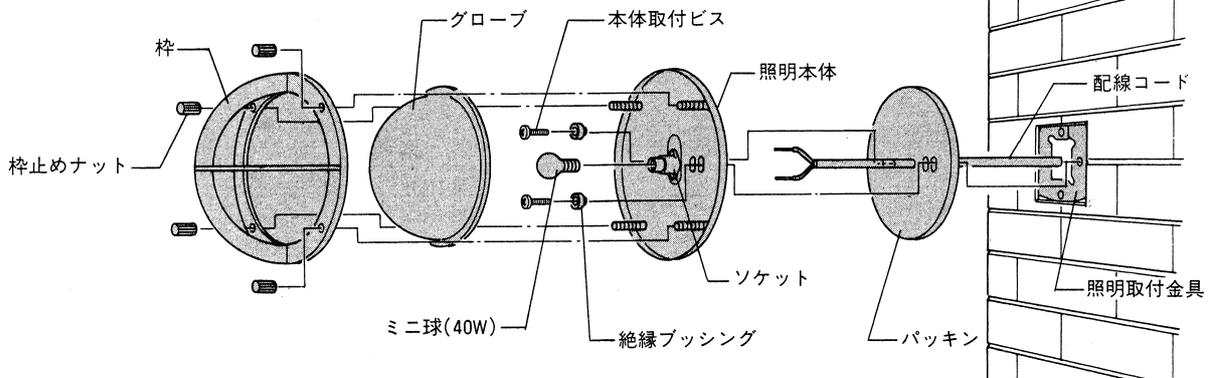
取付け前にならず読んでください。

(パッキン、取付ビス等は、門灯セットに入っています。)

#### 〔照明Kの場合〕



#### 〔照明Lの場合〕

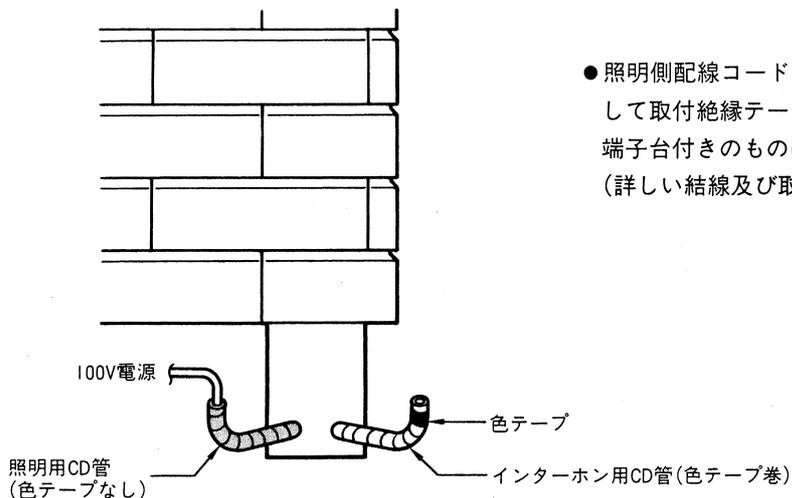


配線コードは柱下部分から出ているCD管から通してください。

- 照明側配線コードとパネル内配線コードをスリーブで結線して取付絶縁テープを巻いてください。

端子台付きのものは、端子台に結線してください。

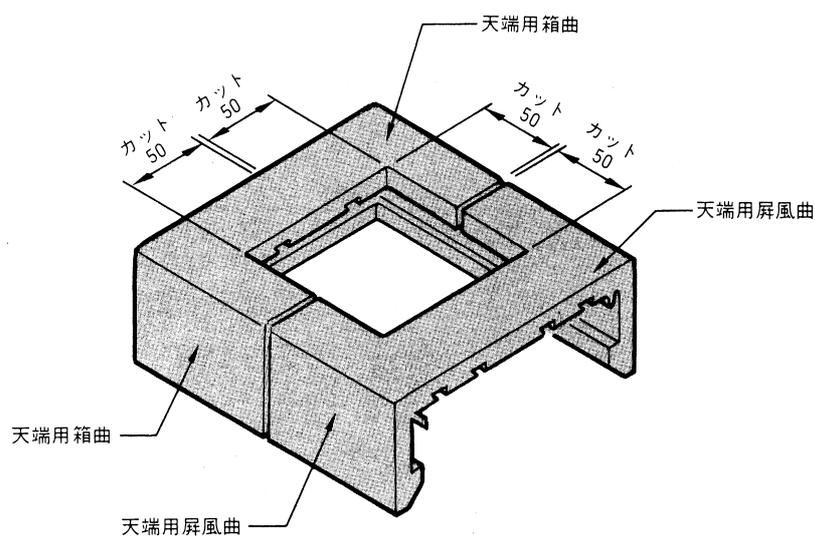
(詳しい結線及び取付方法は門灯の取説をご覧ください。)



## 28. 照明の取付け〈門袖H13・H15の上部取付用〉

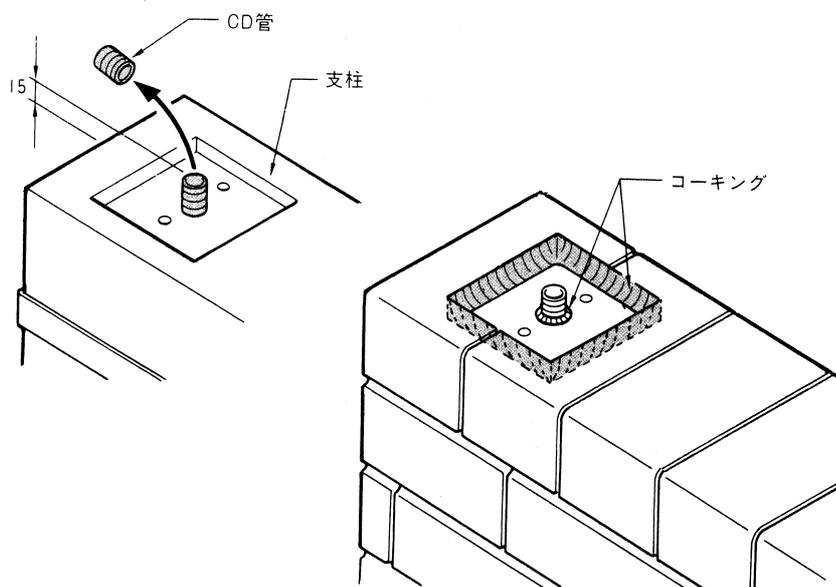
### ① 天端タイルの加工

- タイルを張ってから照明を取付けます。
- 天端用箱曲と隣の天端屏風曲計4枚を下図の通りカットします。



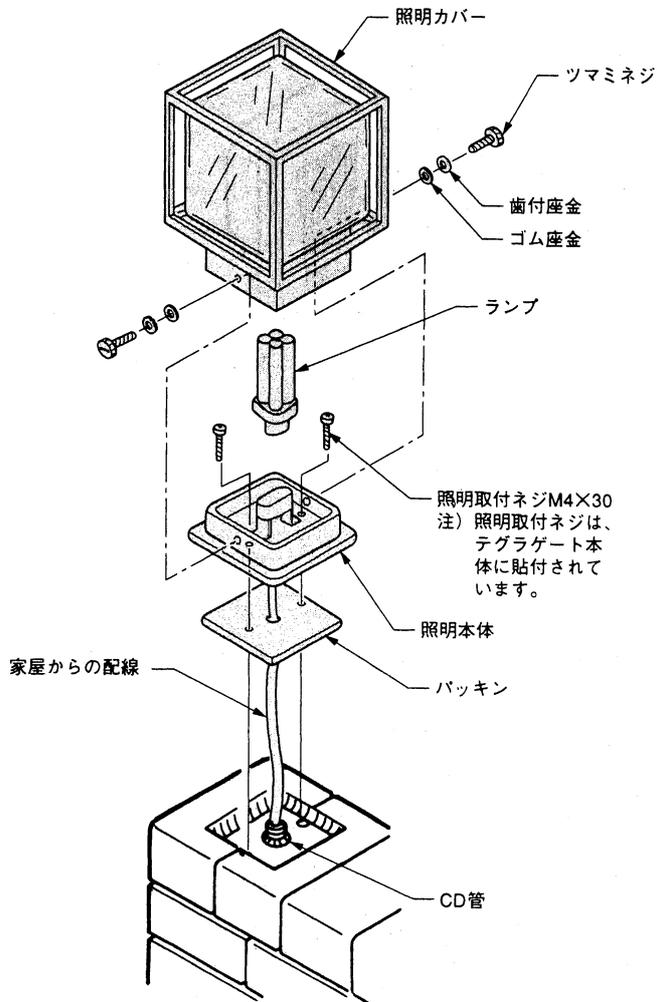
### ② 天端タイル加工部のコーキング

- CD管を壁ユニット上面より15mm残してカットしてください。
  - 笠木のカット部全周と、CD管廻りのコーキングをしてください。
- ※ 支柱に水が侵入するとサビの原因になりますので充分に行ってください。  
※ コーキングはタイル用接着剤を用いてください。

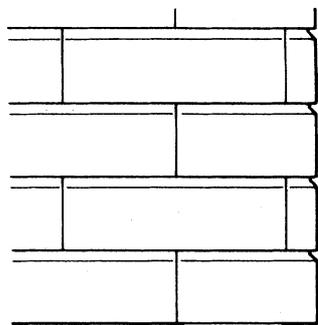


### ③ 照明本体の取付け

電気工事は必ず電気工事店にご依頼ください。

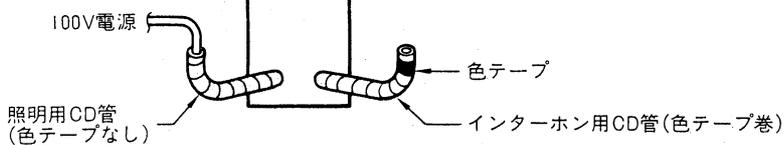


- 門灯セットの梱包の中に入説が入っています。取付け前に必ず読んでください。(パッキン、取付ビス等は、門灯セットに入っています。)
- 配線コードは柱下部分から出ているCD管に通してください。



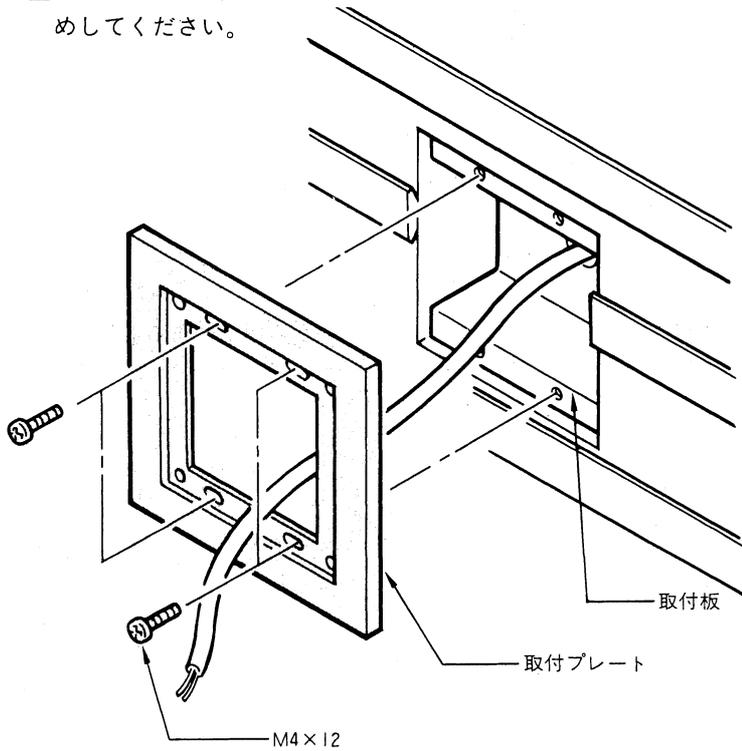
※ 配線コードは柱下部分から出ているCD管から通してください。

- 照明側配線コードとパネル内配線コードをスリーブで結線して取付絶縁テープを巻いてください。端子台付きのものは、端子台に結線してください。(詳しい結線及び取付方法は門灯の取説をご覧ください。)

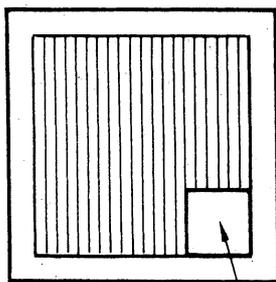
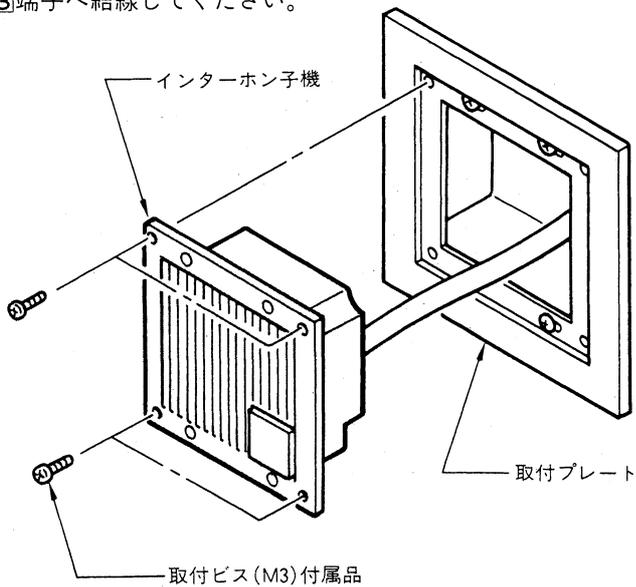


## 29. インターホンの取付け

- ① 取付プレートを壁ユニットの取付板へビス止めしてください。

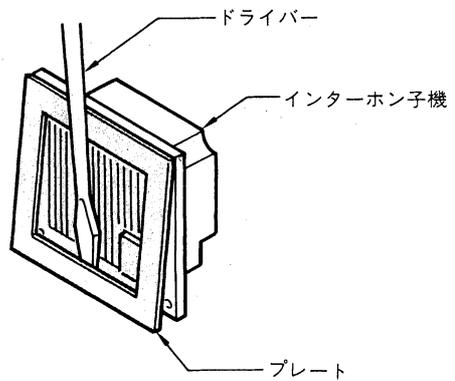


- ③ 端子へ結線してください。

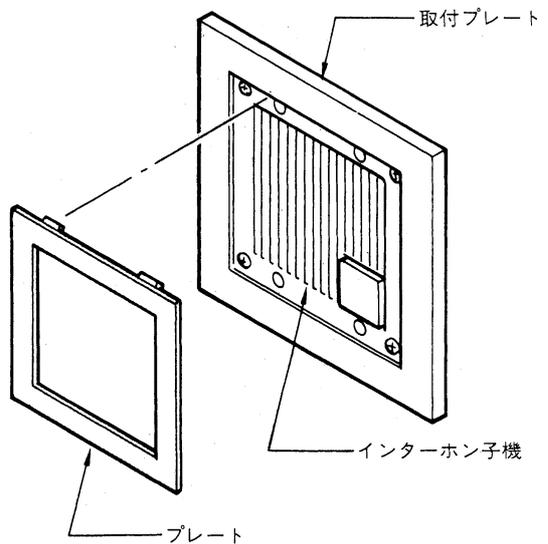


押ボタンが右下になるように  
取付けてください。

- ② インターホン子機のプレートをマイナスドライバーなどで取りはずしてください。



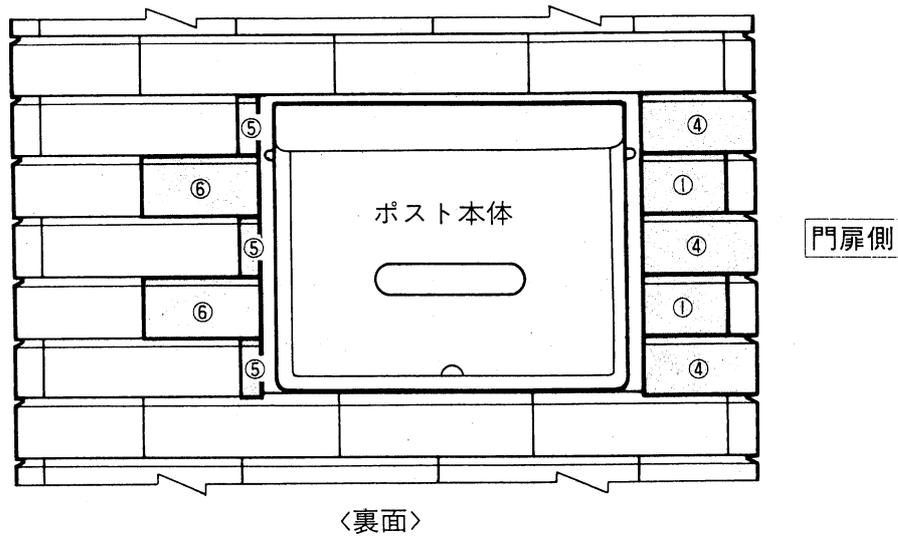
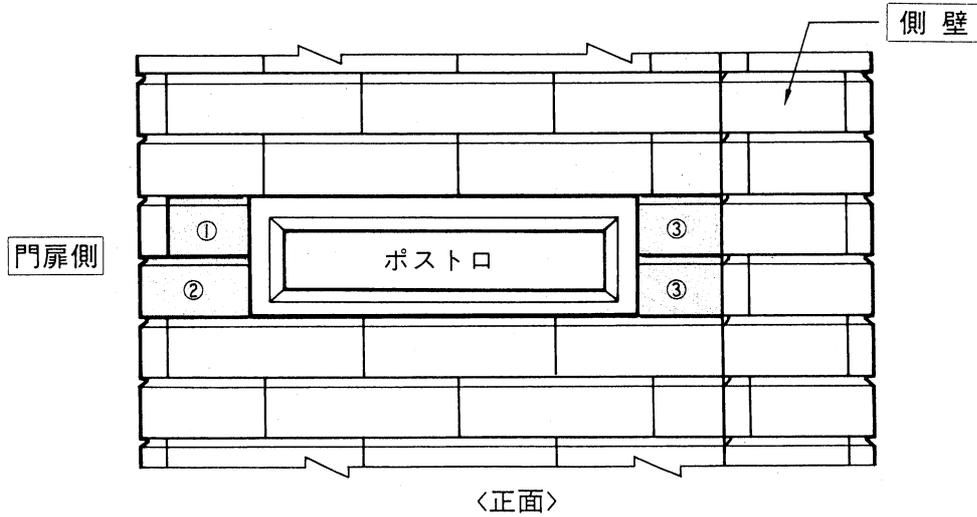
- ④ インターホン子機を取付プレートに固定してください。



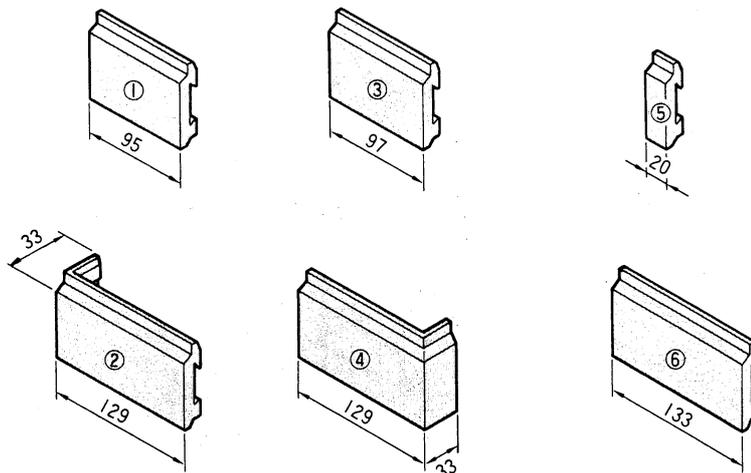
配線コードは柱下部分から出ている CD 管  
から通してください。  
※(インターホン用の CD 管には色テープを貼  
ってあります。)

# 30.ポスの取付け

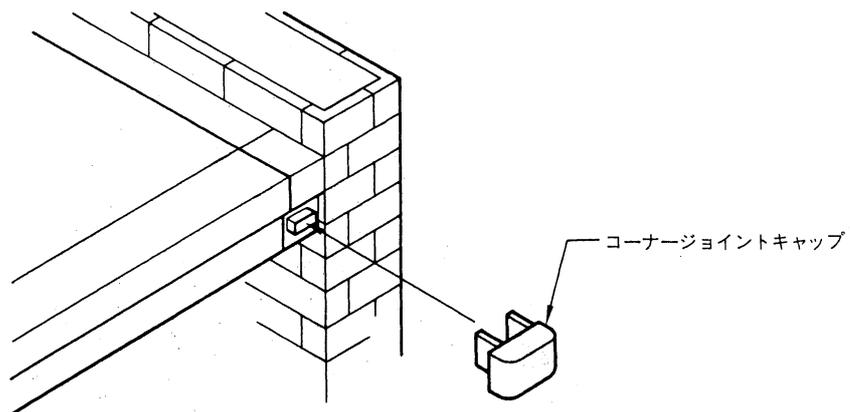
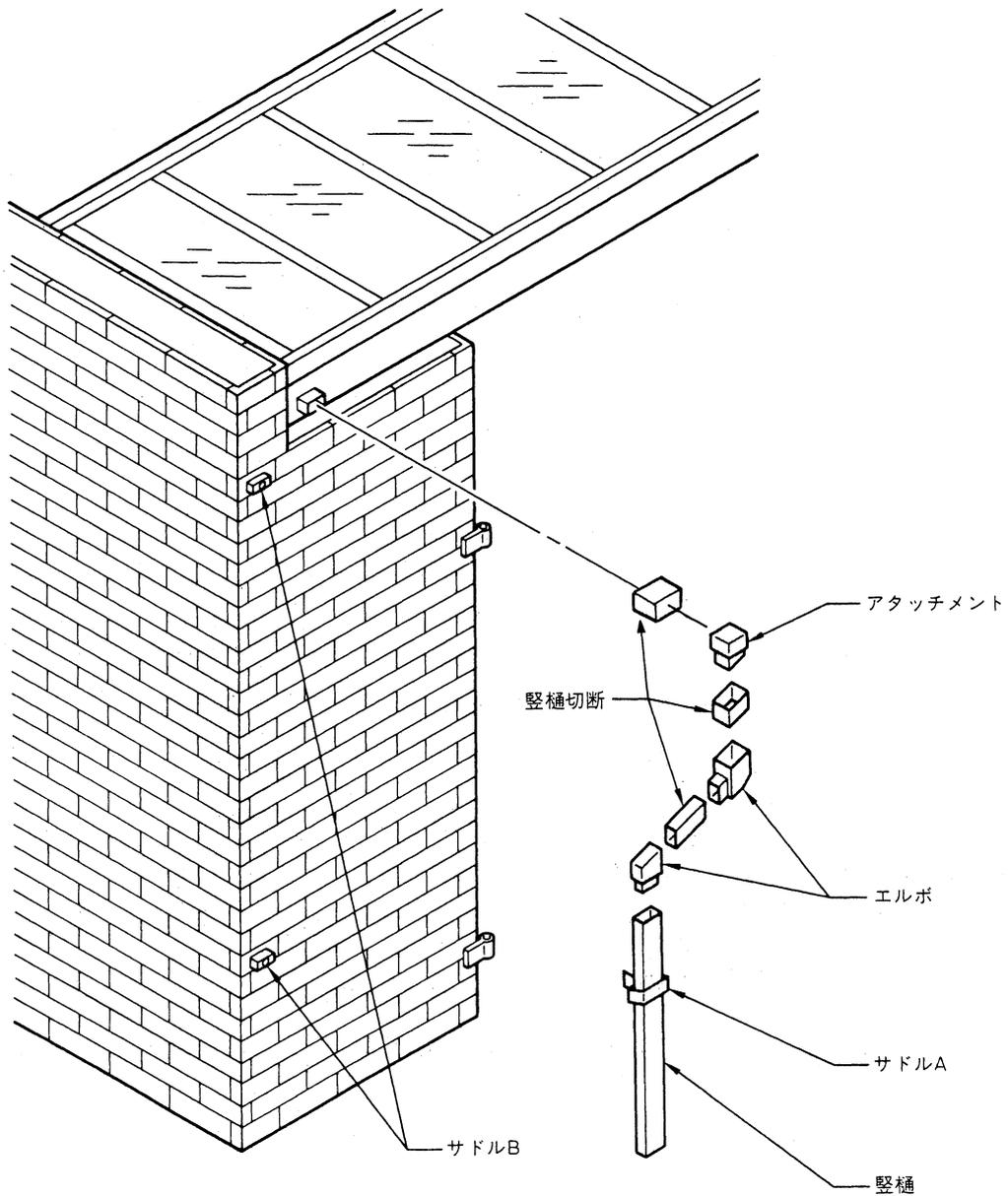
取付詳細はポスト本体に入っている取説をお読みください。  
 ポスト廻りのタイル割付は下図の要領で行ってください。

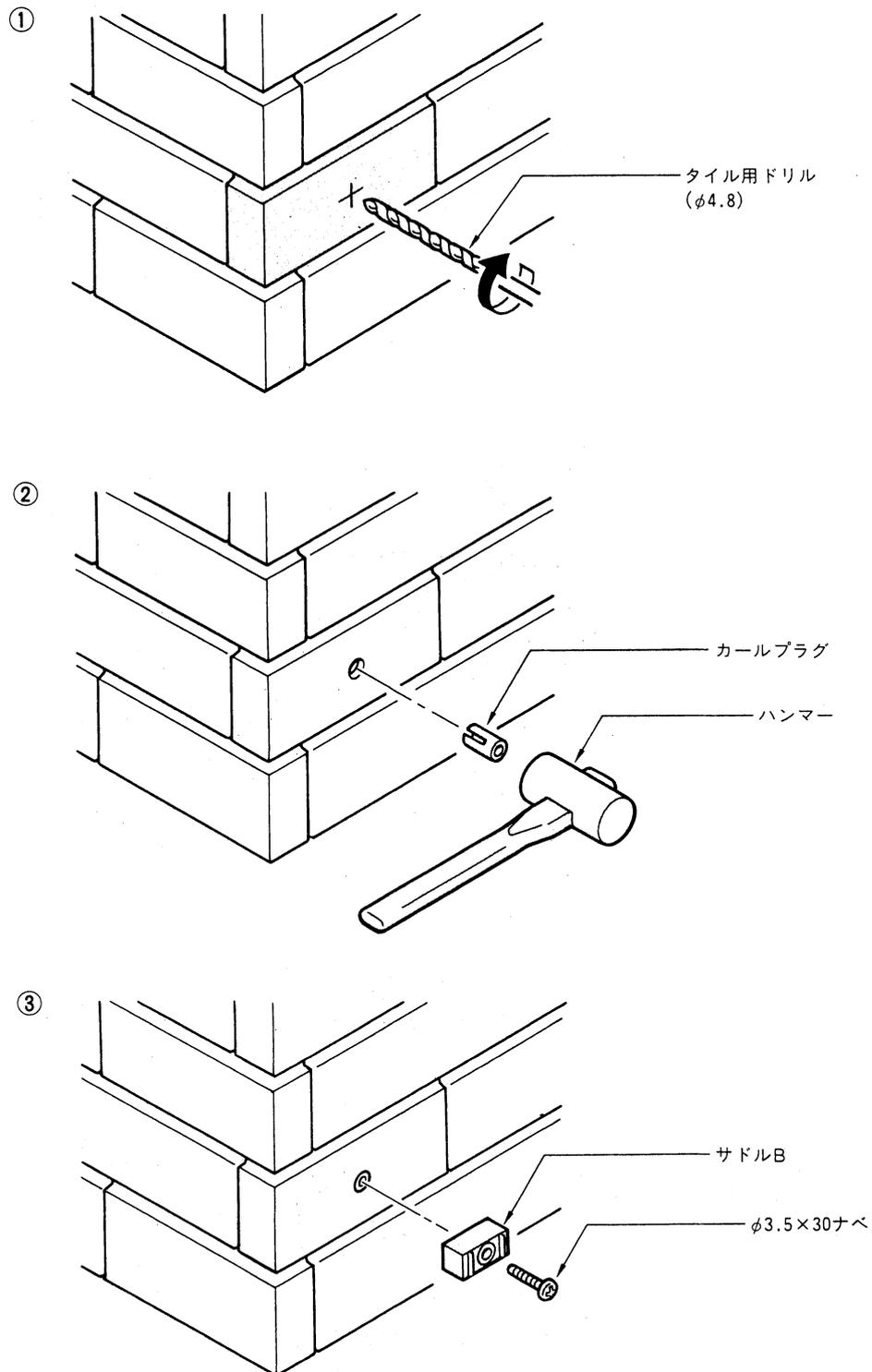


〈タイルカット図〉



# 31.雨樋の取付け



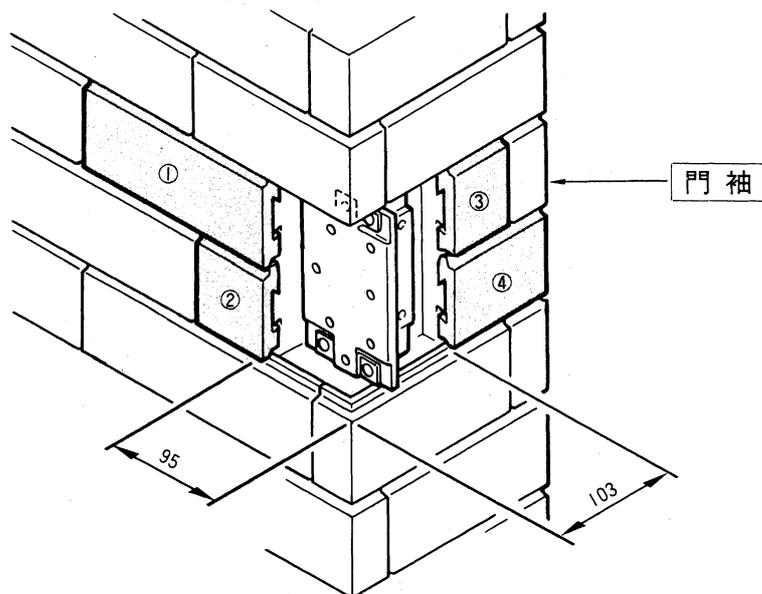


- ①アタッチメントを、雨樋を通す側のコーナーキャップに取付けます。
- ②サドルB取付用の穴を2ヶ所、タイル用ドリル(φ4.8)であけてください。
- ③②であけた穴にカールプラグをハンマーでたたきこんでください。  
注) 強くたたきますと、タイルが割れますので注意してください。
- ④カールプラグに、サドルBをφ3.5×30ナベで固定してください。
- ⑤堅樋は、現場に合わせて切断してください。また、各接合部は、接着剤で接着してください。

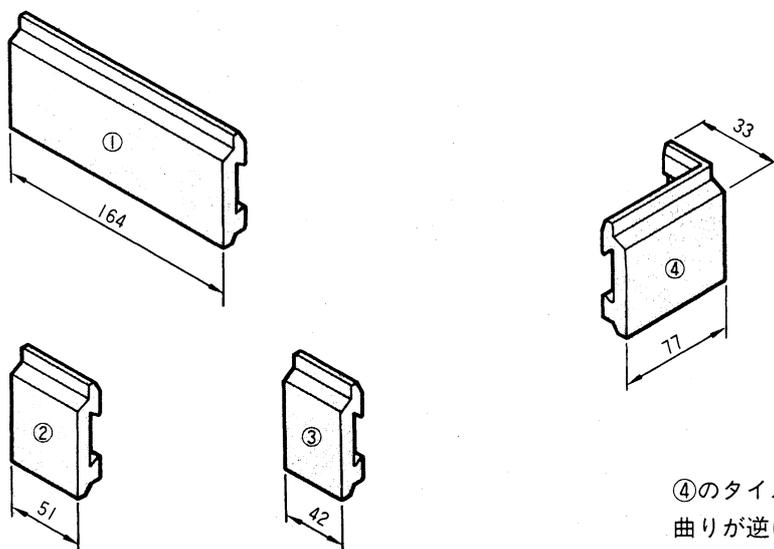
## 32.調整金具の取付

### ① タイルの加工

- 持ち送りはタイル張りを行った後に取付けてください。
- タイルの割付は下図の通りです。タイルカット図を参照してタイルをカットしてください。



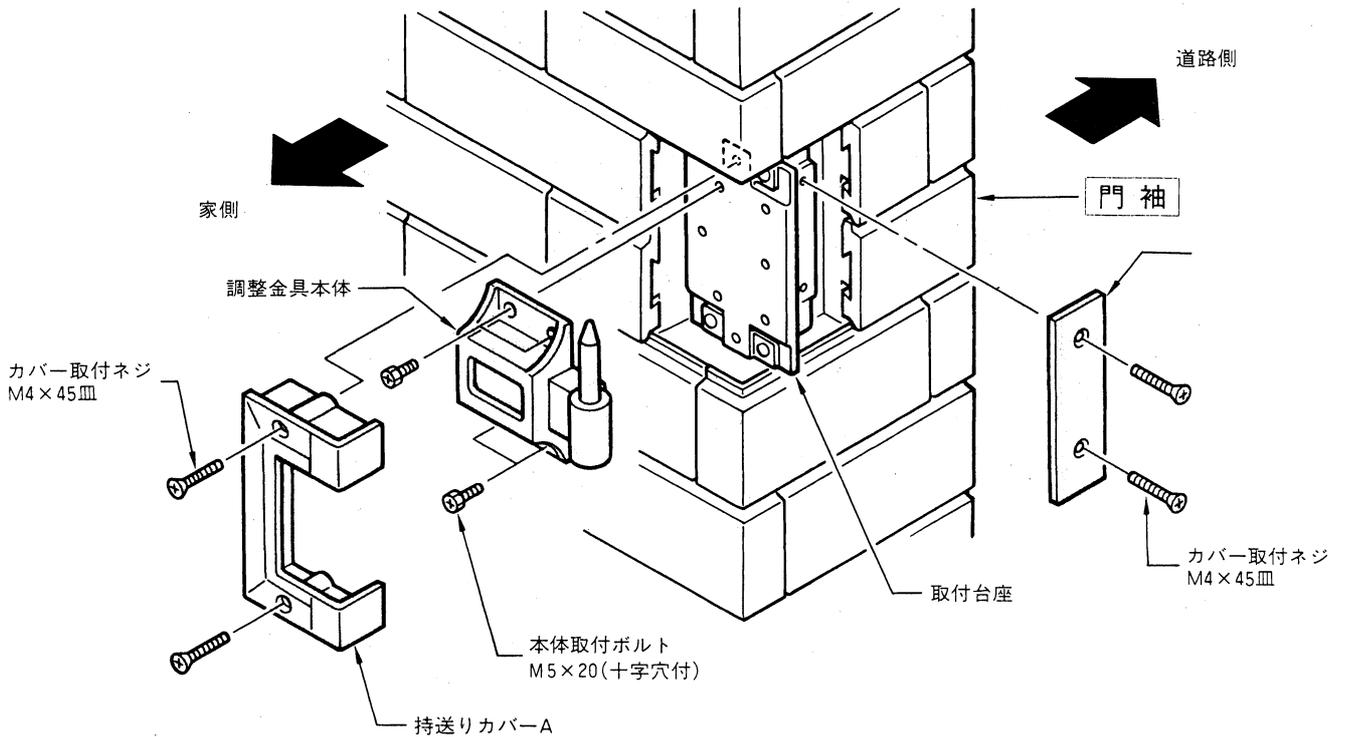
タイルカット図



④のタイルは門扉H寸法によっては  
曲りが逆になる場合もあります。

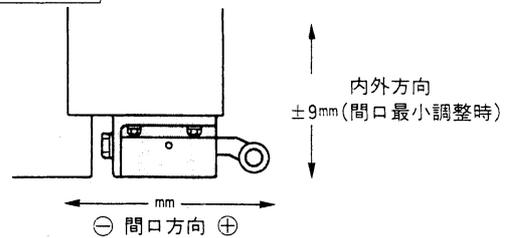
## ②持ち送りの取付け

- 調整金具本体・持ち送りカバーA・Bはタイルを張ってから取付けてください。



- ①調整金具本体を取付台座へボルト止めします。
- ②寸法の調整を行ってください（詳細は調整金具本体の取説を参照ください。）
- ③持ち送りカバーA、Bをネジ止めします。

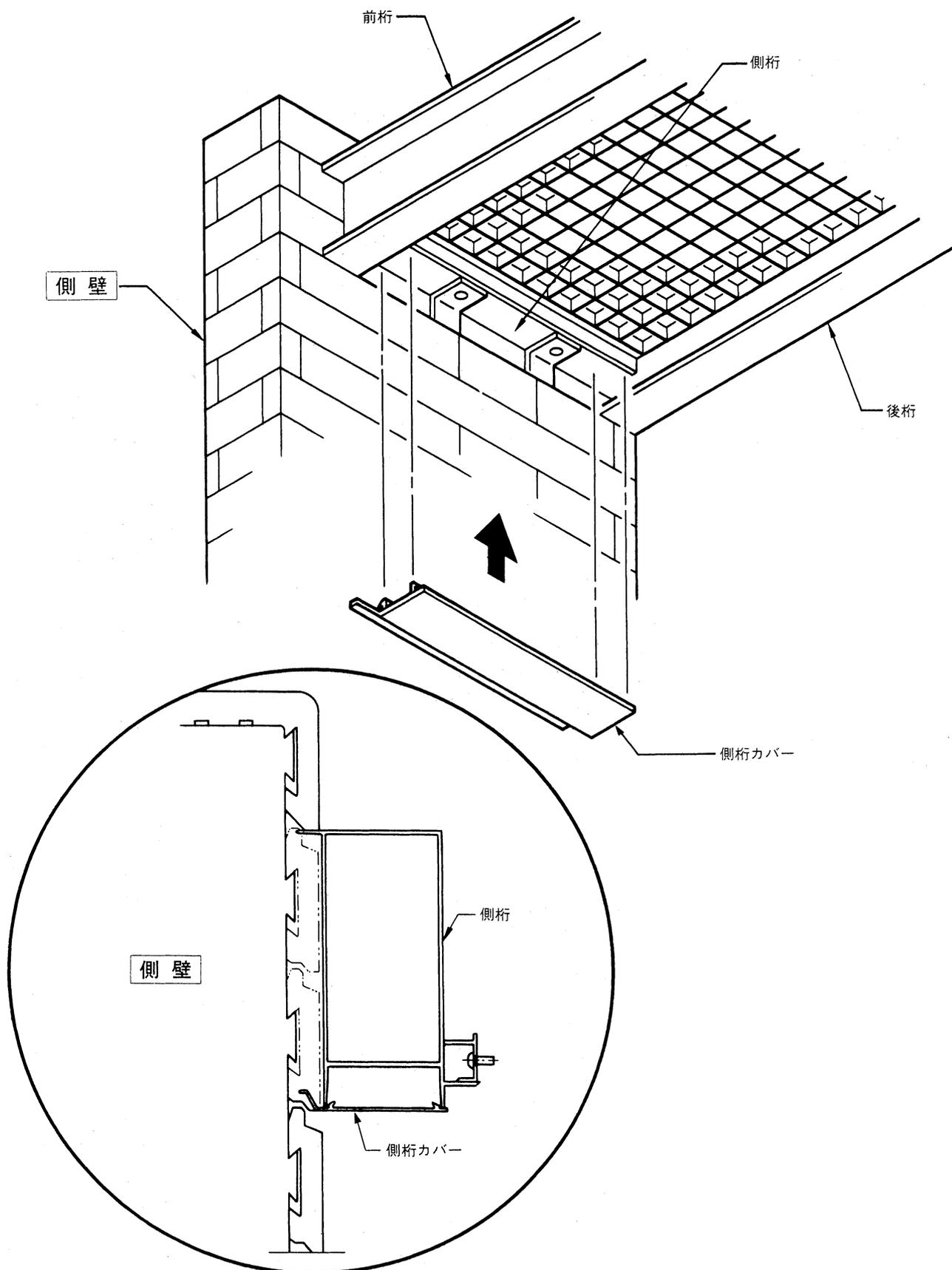
### 調整範囲



門 品 種	扉 ヒンジ芯・芯寸法	持ち送り 軸径	間口方向 調整範囲
アルミ形材 キャスグレード	2W + 37	φ13	± 6
高級鋳物 (高級ロック錠)	2W + 55	φ16	± 5
高級鋳物 (高級ロックB・C錠)	2W + 43	φ16	± 7

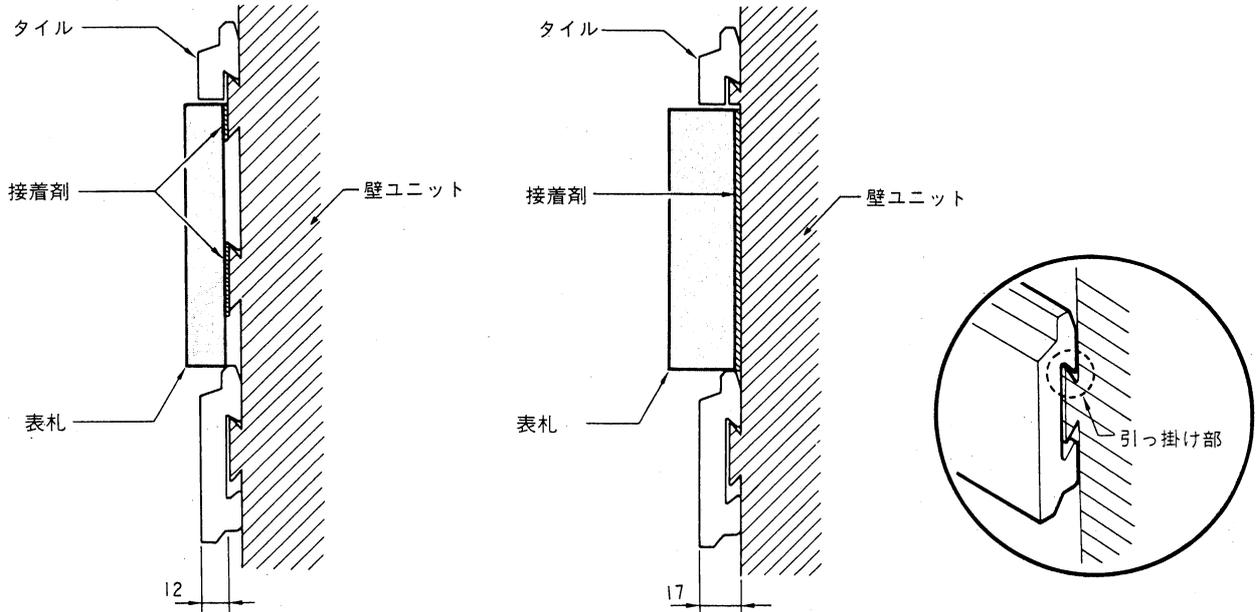
### 33. 屋根側桁カバーの取付け

- タイル張りを行った後に、側桁カバーを側桁にはめ込んでください。

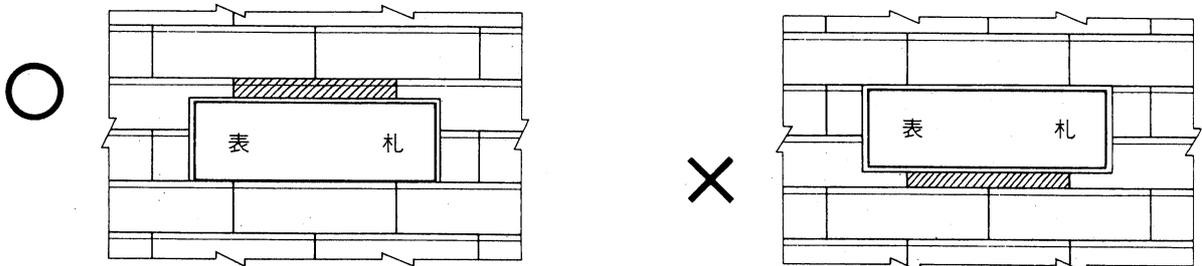


## 34. 表札の取付方法

- ①表札はタイルをカットして、壁ユニットへ直接接着してください。
  - ②表札の厚さにより、引掛け部をカッターで切り取って接着します。
- ※接着はタイル用接着剤を用いてください。

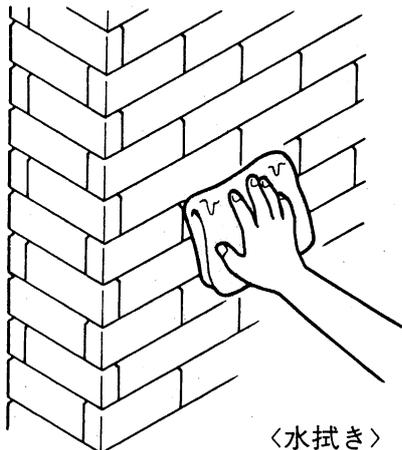


- テグラ・ゲートのタイルは円内の様に引っ掛け方式を採用している為、この部分はカットしないでください。

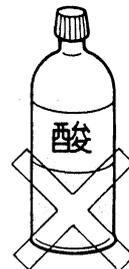


## 35. タイル清掃

- タイルの表面に白い粉が付いていますが、水拭きで簡単にとれます。酸洗いや溶剤拭きは行わないでください。



シンナー等

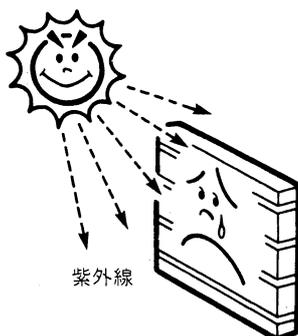


## 施工上の留意点とお願い

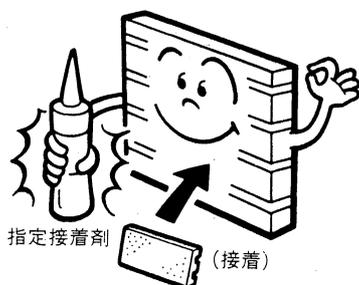
### 1) 下地材に関する留意点

■下地材は太陽光線のもとに長期間放置すると紫外線により表面が劣化するおそれがあります。

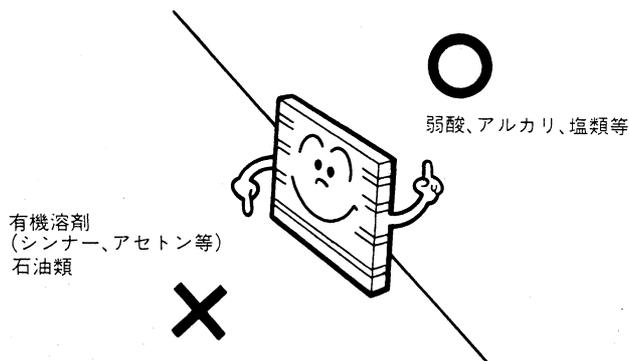
開梱、固定後は速やかにタイル張りを行って下さい。日を置く場合は必ずシート、ダンボール等で養生をしてください。



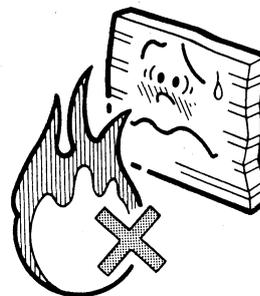
■タイルの接着には必ず当社指定の接着剤を使用して下さい。他の物を用いますと接着剤に含まれる有機溶剤で下地材が侵されたり、接着不良を起こしたりします。



■下地材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などには優れた抵抗性を持っていますが、アルコール系以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っています。



■下地材は難燃材を含んでいますので、微少火源では着火しにくくなっていますが、燃える性質があります。火気には十分にご注意ください。また、80℃以上になると変形しますので、高温のものは近付けないでください。



### 2) タイルに関する留意点

■タイルはJIS A5209(陶磁器質タイル)で種類・形状および寸法・外観・反り等の基準が規定されており、テグラゲートのタイルもこれに準じております。ただし、長さ、幅、反りについては許容値が大きい事をご承知おきください。

■タイルには焼物特有の色幅があり、これが独特の風合となります。特に「レンガ色」は製法上、色調のバラツキ色幅が大きくなり、虹状に見える場合があります。

### 工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡しください。
- 御使用頂きましてありがとうございました。次回も当社の製品を御使用ください。

取説コード

**B029**

IF-E①  
199901D